



2025年度

新涯箕島線（橋梁下部）・7-1

福山市箕島町地内

道路改良工事 実施設計書

当初設計

- 工事延長 L=38.6m
- 場所打杭工 ϕ 2.0m L=9.0m N=4本
- 橋脚躯体工 N=1基
- 護床工 一式
- 護岸工 一式
- 仮設工 一式

工
事
概
要

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（新涯箕島線（橋梁下部）・7-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。
- ・境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。
- ・受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度30）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 施工箇所の制限

- ・本工事は重要港湾福山港内において、港湾管理者及び海岸管理者（広島県東部建設事務所港湾課）の同意を得て実施する行為であるため、工事の施工に当たっては、事故防止及び海洋汚染防止に万全を期すと共に、港湾管理者及び海岸管理者の指示に従うこと。

第2節 関連する別途工事

- ・工事名 : 道路改良工事（新涯箕島線・6-1）
- ・他工事の内容 : 釜屋公園付近における道路改良工事（擁壁工及び排水構造物工他）

- ・工事名 : 新涯ポンプ場ポンプ棟耐震化工事（その2）
- ・他工事の内容 : ポンプ棟耐震補強工事

第3節 関係機関との協議

- ・協議先機関名 : 福山市上下水道局施設部水づくり課
- ・協議内容 : 仮設盛土等撤去、護床工及び護岸工施工時の新涯ポンプ場の運用について（施工スケジュール・安全管理）
: 工事期間中における新涯ポンプ場の出入口確保及び既設埋設（電気・通信）ケーブルの養生等について

- ・協議先機関名 : 福山市建設局土木部農林整備課
- ・協議内容 : 仮設盛土等撤去、護床工及び護岸工施工時の唐樋排水機場の運用について（施工スケジュール・安全管理）

- ・協議先機関名 : 広島県警察本部福山東警察署
- ・協議内容 : 工事施工中の交通規制について
大型車通行禁止区域の通行許可について

- ・協議先機関名 : NTT西日本株式会社
- ・協議内容 : A2橋台付近における仮設盛土撤去時のNTT柱支線の保護について

- ・協議先機関名 : 中国電力ネットワーク株式会社
- ・協議内容 : A2橋台付近における中電柱・架空送電線の確認について
: クレーン作業時における架空高圧送電線とブームの離隔確保について

第4節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第5節 水替・流入防止施設

- ・内容 : 汚濁防止フェンス（L=70.0m）の維持管理を行うこと。
（連続フロート）φ300、カーテン#300 生地引張強度（N/3cm）2000以上3000未満
汚濁防止フェンスは2024年度工事で設置済であるが、今後も継続的に使用する。
本工事期間中、海洋汚染防止のため、維持管理を行うこと。
- ・期間 : 本工事着手から本工事竣工まで

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第8節 指定仮設

- ・内容：仮設工 土留・仮締切工
- ・理由：本工事は重要港湾福山港内に施工している仮設盛土上で仮締切を施工し、下部工（橋脚）を整備する。仮締切工については、施工中の既設海洋保全施設の安定を確保するため、施設管理者と協議の上、形状を決定しているため、上記工種は指定仮設とする。設計図書に定める方法により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・内容：仮設工 工事用道路工（敷鉄板）
- ・理由：仮設盛土（工事用道路）の下部にある既設海洋保全施設を保護するため、施工中は敷鉄板を施設することを施設管理者との協議により決定しているため、上記工種は指定仮設とする。

第9節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第10節 建設発生土（搬出）（他工事間流用）

- ・当該工事により発生する建設発生土は、次の指定地に搬出するものとする。
- ・搬出場所：道路改良工事（箕沖17号線・7-1） 福山市箕沖町地内
- ・搬出数量：940m³を見込んでいます
- ・受入条件：受入れ時間（9時00分～16時00分）
受入先土砂の種別（礫質土・砂質土程度）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第11節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいます。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第12節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国统一のマニフェストを使用する。）

第13節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上)のものを用いる。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものを用いる。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休2日	完全週休2日(土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)



(2)

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。

発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A 3 サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-07.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁下部					Y1E05 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0503 レベル2
掘削工	1	式			Y1E050301 レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1E05030101 レベル4
仮設盛土撤去 Dブロック 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	220	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
仮設盛土撤去 Dブロック 狭小箇所あり 潮待ち補正係数 1.25	450	m3			V0004 00 見積 単第0 -0002 表
大型土のう撤去		袋			Y1A01150111 レベル4 F=0.21
大型土のう撤去 Dブロック 作業半径 6mを超え20m以下 潮待ち補正係数 1.21	261	袋			SHD10011 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工					Y1E050310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1E05031002 レベル4
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	650	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	220	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
運搬処理工					Y1A011416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1A01030202 レベル4
		m3			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)	0.91	t			SPK24040410 00 大型土のう袋 単第0 -0005 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)	0.14	t			SPK24040410 00 防砂シート 単第0 -0006 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	1.06	t			SPK24040411 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【殻種別】		m3			Y1A01030203レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃プラスチック処理費 大型土のう袋 3.5kg/袋	0.91	t			F000000010 00 見積
廃プラスチック処理費（砂防シート） 不織布（長繊維化繊系） 質量500g/m2・強	0.14	t			F000000011 00 見積
P3橋脚工	1	式			Y1E0506 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050601 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E05060102レベル4
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	180	m3			SPK24040015 00 単第0 -0008 表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	420	m3			SPK24040015 00 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	160	m3			SPK24040015 00 単第0 -0010 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	390	m3			SPK24040020 00 単第0 -0011 表
基面整正		m2			Y1E05060104レベル4
基面整正	72	m2			SPK24040017 00 単第0 -0012 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060111レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	360	m3			SPK24040002 00 単第0 -0013 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060406レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土受入費 粘性土					F0000000001 00
	360	m3			
場所打杭工					Y1E050604 レベル3
	1	式			
場所打杭 【杭径,杭長(設計長)】					Y1E05060401 レベル4
		本			
基礎杭工 杭1本当り掘削長 1 5 . 1 m 設計杭径 2,000mm					S1030029 00
	4	本			単第0 -0014 表
杭頭処理工					S0385 00
	4	本			単第0 -0018 表
鉄筋工 SD345_D35 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上					SS000099 00
	15.00	t			単第0 -0019 表
鉄筋工 SD345_D16 ~ D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上					SS000099 00
	6.16	t			単第0 -0020 表
鉄筋工 SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上					SS000099 00
	0.12	t			単第0 -0021 表
積込(ルーズ) 【土質】					Y1E05060402 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	60	m3			SPK24040007 00 単第0 -0022 表
積込(ルーズ) 破碎岩 土量50,000m3未満	40	m3			SPK24040007 00 単第0 -0023 表
積込(ルーズ) 破碎岩 土量50,000m3未満	20	m3			SPK24040007 00 単第0 -0023 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1A01020103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	60	m3			SPK24040020 00 単第0 -0024 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060405レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	60	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
土砂等運搬 標準 軟岩 D1D区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	40	m3			SPK24040002 00 単第0 -0025 表
土砂等運搬 標準 硬岩 D1D区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	20	m3			SPK24040002 00 単第0 -0026 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060406レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費 軟岩	40	m3			F0000000003 00
残土受入費 硬岩	20	m3			F0000000004 00
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E05060407レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	13	m3			SPK24040151 00 単第0 -0027 表
殻処分 【殻種別】		t			Y1E05060408レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 無筋コンクリート殻	30	t			F0000000005 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋脚躯体工(構造物単位)					Y1E050608 レベル3
	1	式			
T型橋脚 【高さ区分,打設量化粧型枠の有無】					Y1E05060801 レベル4
		m3			
T形橋脚 100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満) 生コンクリート(各種)					S3070 00
	236	m3			単第0 -0028 表
円形紙管 150×3.5					T2170011 00
	44	m			
鉄筋 【鉄筋材料規格・径】					Y1E05060803 レベル4
		t			
鉄筋工 SD345_D35 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規]10t以上					SS000099 00
	13.13	t			単第0 -0030 表
鉄筋工 SD345 D22 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上					V0001 00
	8.12	t			単第0 -0031 表
鉄筋工 SD345 D19 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上					V0002 00
	1.70	t			単第0 -0033 表
鉄筋工 SD345 D16 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上					V0003 00
	1.75	t			単第0 -0034 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
護床工					Y2999 レベル2
	1	式			
護床復旧工					Y3999 レベル3
	1	式			
布製型枠復旧					Y4999 レベル4
		m2			
布製型枠工 全面水中施工 標準型（水抜部無し）・平均厚100mm					V0020 00
	176	m2			見積 単第0 -0035 表
護岸工					Y1E0508 レベル2
	1	式			
捨石復旧工					Y1E050803 レベル3
	1	式			
積込(ルーズ) 【土質】					Y1E05060402 レベル4
		m3			
積込(ルーズ) 岩塊・玉石 土量50,000m3未満					SPK24040007 00
	10	m3			単第0 -0040 表
土砂等運搬 【土質】					Y1E05060111 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離0.3km以下	8	m3			SPK24040002 00 単第0 -0041 表
捨石復旧 潮待補正		m3			Y4999 レベル4 F=0.37
捨石復旧 最大作業半径9mを超え24m以下 石材再利用 潮待ち補正係数 1.37	8	m3			SPK24040167 00 単第0 -0042 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060111 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	4	m3			SPK24040002 00 単第0 -0043 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060406 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残石受入費	4	m3			F0000000012 00
水叩き復旧工	1	式			Y1E050805 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】		m3			Y1E05030101 レベル4
掘削 土砂 片切掘削	8	m3			SPK24040001 00 単第0 -0044 表
基面整正		m2			Y1E05060104 レベル4
基面整正	41	m2			SPK24040017 00 単第0 -0012 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060111 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	8	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
水叩き復旧		m3			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	8	m3			SPK24040153 00 単第0 -0045 表
仮設工	1	式			Y1E0512 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事用道路工					Y1E051201 レベル3
	1	式			
敷鉄板 【鋼材規格,作業区分】					Y1E05120104 レベル4
		m2			
敷鉄板設置					S1050041 00
	195	m2			単第0 -0046 表
敷鉄板撤去					S1050043 00
	195	m2			単第0 -0048 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間134日					S1050029 00
	42	枚			単第0 -0049 表
土留・仮締切工					Y1E051204 レベル3
	1	式			
鋼矢板 【鋼矢板型式,平均鋼矢板長さ】 【鋼矢板打込長,平均鋼矢板引抜長】					Y1E05120402 レベル4
		枚			
鋼矢板横継施工 型 L=12.0+2.5=14.5m					V0010 00
	108	箇所			見積 単第0 -0050 表
鋼矢板圧入(50<Nmax 600) 250<Nmax 375 型 圧入長(m)_15以下(12超) 補助クレーンあり					V1050020 00
	108	枚			単第0 -0053 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板継足し溶接工 型 L=14.5+1.5=16.0m	14	箇所			V0011 00 見積 単第0 -0057 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 型 引抜長(m)_15以下(12超)	108	枚			S0454 00 単第0 -0058 表
ガス切断 鋼矢板	108	箇所			S0180 00 単第0 -0060 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (50<Nmax 600) IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0061 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0062 表
鋼矢板4型賃料 1回使用 供用日数153日	115.3	t			S0850 00 単第0 -0063 表
異形加工鋼矢板 (A, B, D, E, F) 新品買 材料費・加工費	1	式			V0080 00 見積 単第0 -0064 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ(鋼矢板) 鉄屑(ヘビーHS)	4.5	t			F000000814 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
山留材（腹起し・隅火打ち）		t			Y1E05120414 レベル4
山留材（腹起し・隅火打ち）設置	49.7	t			SHD10019 00 単第0 -0065 表
山留材（腹起し・隅火打ち）撤去	49.7	t			SHD10019 00 単第0 -0066 表
山留材賃料（H-500） H-500 300kg/m 供用日数153日	35.8	t			V0081 00 単第0 -0067 表
山留材賃料（H-300） H-300 100kg/m 供用日数153日	3.6	t			SHD10013 00 単第0 -0068 表
水替工	1	式			Y1E051206 レベル3
ポンプ排水 【排水量,排水方法】		日			Y1E05120601 レベル4
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水	28	日			S1050031 00 単第0 -0069 表
交通管理工	1	式			Y1E051221 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1E05122101 レベル4
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	12	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
建設機械運搬費					YZZ04001001 レベル4
		台			
建設機械の貨物自動車等による運搬 油圧式杭圧入引抜機(硬質地盤専用) 片道運搬距離 42km 往復運搬					S1000013 00
	1	回			単第0 -0072 表
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003 レベル4
		回			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	1	回			S1000017 00 単第0 -0075 表
重建設機械分解組立輸送 オールケーシング掘削機(クローラ式)	1	回			S1000017 00 単第0 -0076 表
仮設材運搬費					YZZ04001004レベル4
仮設材等(敷鉄板)運搬 運搬距離 6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0077 表
仮設材等(鋼矢板(型))運搬 運搬距離 72km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0080 表
仮設材等(鋼矢板(異形加工))運搬 運搬距離 72km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0083 表
仮設材等(山留材(H-500))運搬 運搬距離 198km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0086 表
仮設材等(山留材(H-300))運搬 運搬距離 6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0089 表
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

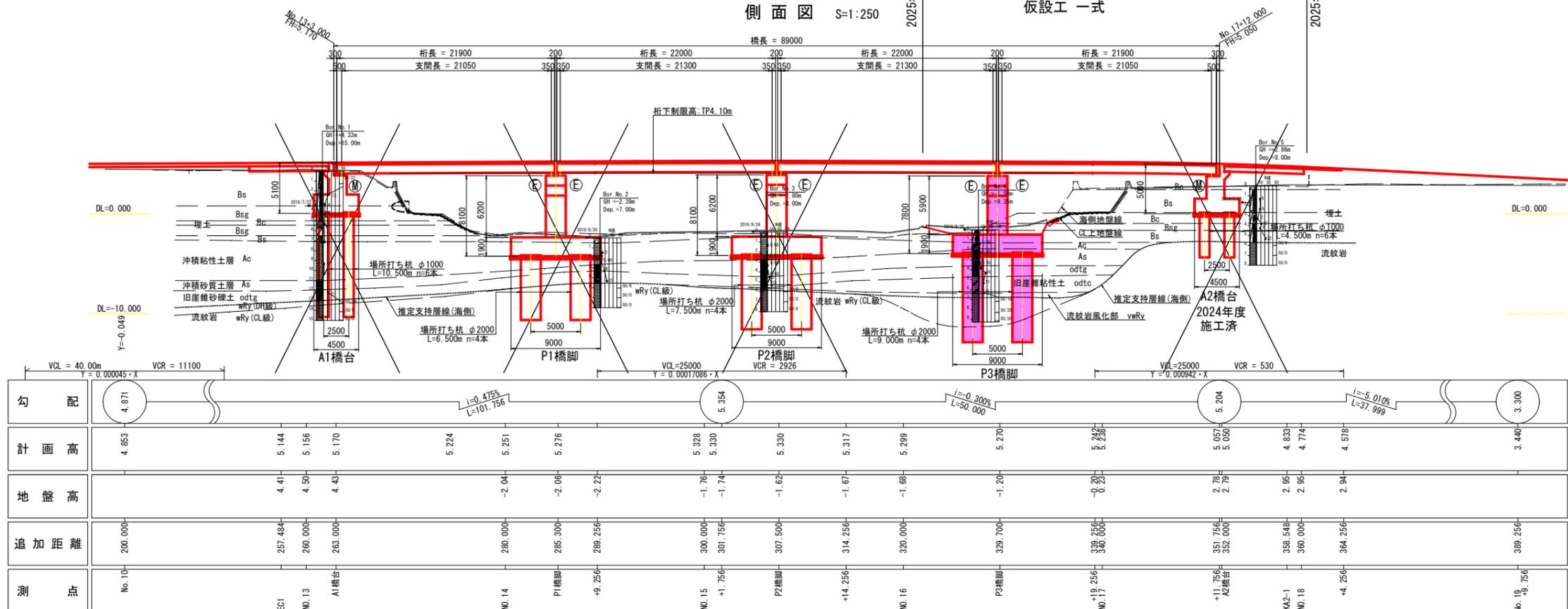
図面番号	1 / 17	縮尺	S=1:10,000
工種	道路改良工事		
種別	位置図	番	1
路線名	新漕箕島線 (橋梁下部) ・ 7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
福山市			



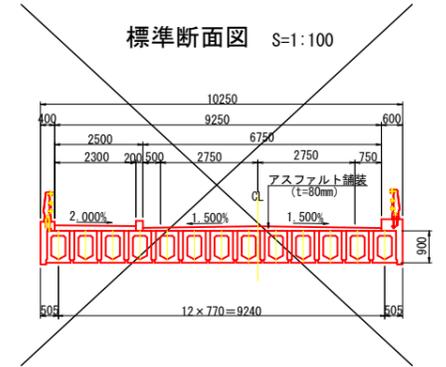
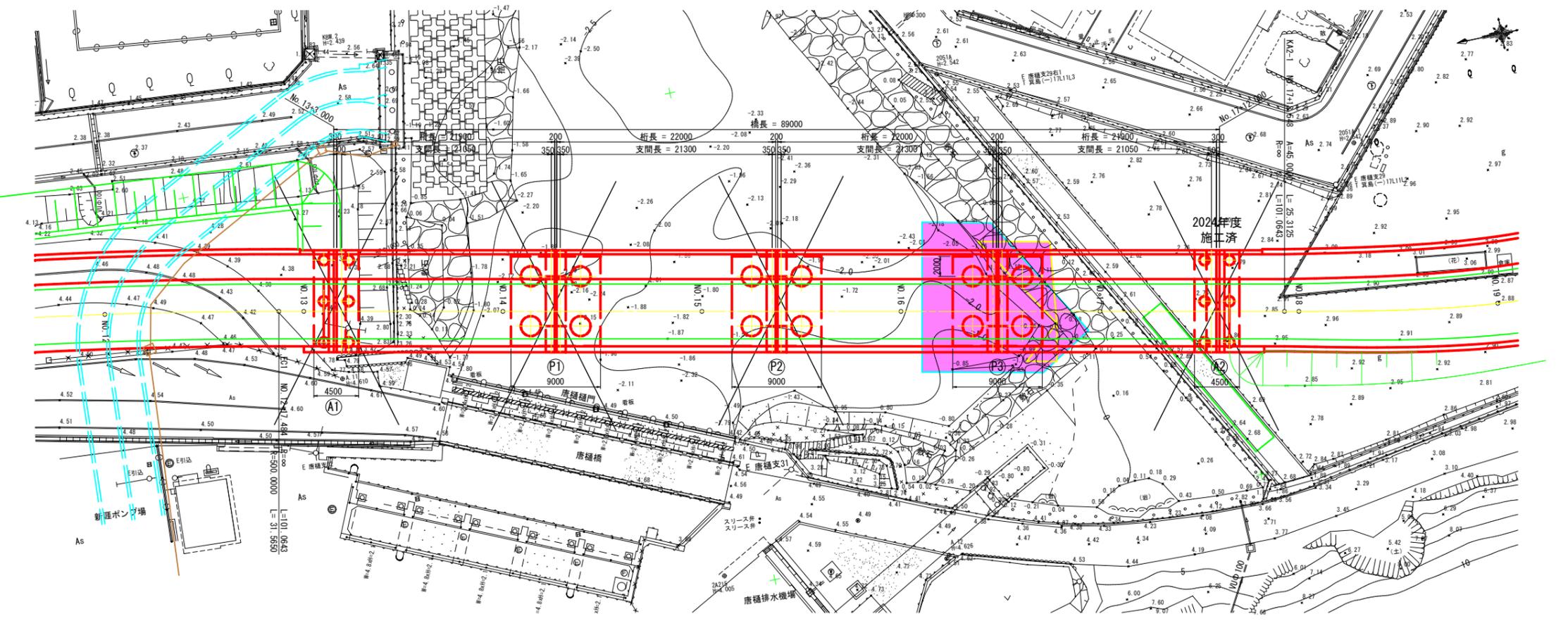
橋梁一般図

工事延長 L=38.6m
 場所打ち杭 φ2.0m L=9.0m N=4本
 橋脚躯体工 N=1基
 護床工 一式
 護岸工 一式
 仮設工 一式

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



勾配	VCL = 40.00m Y = 0.000045 · X																		
計画高	4.853	5.144	5.156	5.170	5.224	5.251	5.276	5.328	5.330	5.330	5.317	5.299	5.270	5.057	5.050	4.833	4.774	4.578	3.440
地盤高		4.41	4.50	4.43		-2.04	-2.06	-1.76	-1.74	-1.62	-1.67	-1.68	-1.20	2.78	2.79	2.95	2.95	2.94	
追加距離	200.000	257.484	260.000	263.000		280.000	285.300	300.000	301.756	307.500	314.256	320.000	329.700	351.756	352.000	358.546	360.000	364.256	389.256
測点	No. 10	EC1	No. 13	A1橋台	No. 14	P1橋脚	No. 15	P2橋脚	No. 16	P3橋脚	No. 17	A2橋台	No. 18	No. 19					

設計条件		
橋名	(仮称) 新唐橋	
路線名	市道 新涯箕島線	
道路規格	第3種 第4級	
橋長	89.000m	
支間長	21.050m+21.300m+21.300m+21.050m	
幅員	有効幅員 2.500+0.500+2.750+0.750=9.250m	
全幅	0.400+9.250+0.600=10.250m	
設計速度	V= 30 km/h	
横断勾配	車道: 1.500%, 歩道: 2.000%	
縦断勾配	0.475%~0.300%~5.010%	
斜角	90° 00' 00"	
設計荷重	A活荷重	
橋の重要区分	A種の橋	
型式	上部工	プレテンション方式4径間連続ホロー桁橋
	橋台	逆T式橋台
	橋脚	張出し式橋脚
基礎工	杭基礎	
適用示方書	道路橋示方書-同解説I~V (平成29年11月)	

福山港潮位表			
潮位種別		C.D.L	T.M.S.L
M. X. H. W. L	既往最高高潮面	4.96	3.00
H. H. W. L	最高高潮面	4.20	2.24
H. W. L	期望平均満潮面	3.87	1.91
M. S. L	平均水面	2.10	0.14
T. M. S. L (旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96	0.00
M. L. W. L	平均低潮面	1.01	-0.95
L. W. L	期望平均干潮面	0.18	-1.78
C. D. L	最低水面	0.00	-1.96

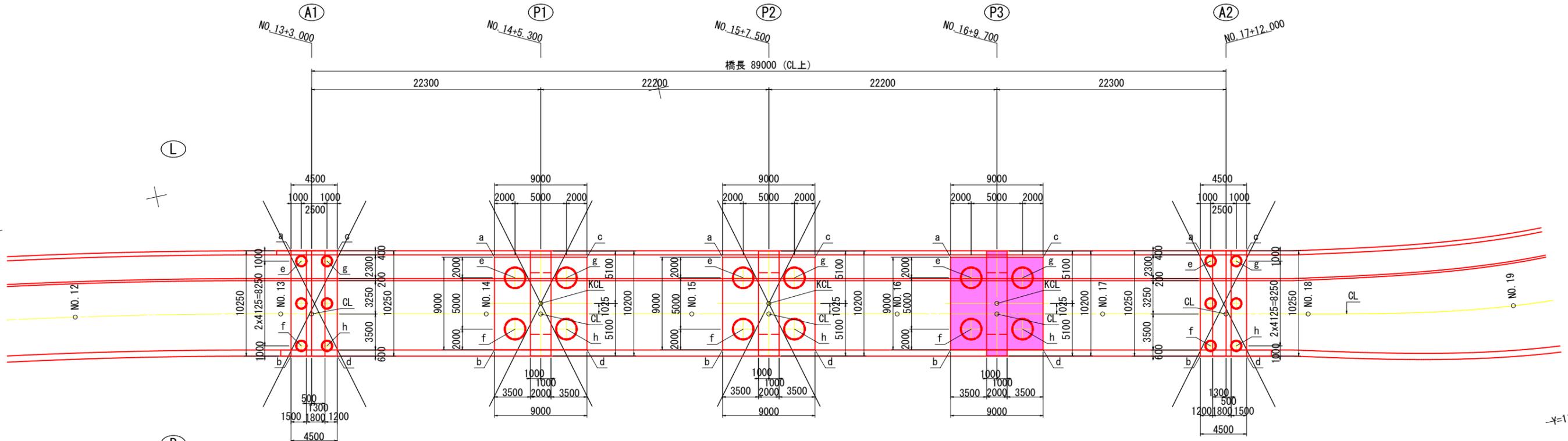
※T. M. S. L (旧称T. P) で図示している。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	2 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	橋梁一般図	番号	1 / 1
路線名	新涯箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

下部工座標図 S=1:200



A1橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170612.3554	113835.6736
a	-170611.6972	113842.1070
b	-170609.5357	113832.0875
c	-170616.0960	113841.1581
d	-170613.9345	113831.1386
e	-170612.4639	113840.9186
f	-170610.7241	113832.8542
g	-170614.9076	113840.3915
h	-170613.1679	113832.3270

P1橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170634.1539	113830.9710
KCL	-170634.3700	113831.9730
a	-170630.9202	113837.3207
b	-170629.0223	113828.5231
c	-170639.7178	113835.4228
d	-170637.8199	113826.6252
e	-170632.4534	113834.9439
f	-170631.3991	113830.0564
g	-170637.3410	113833.8895
h	-170636.2866	113829.0020

P2橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170655.8547	113826.2895
KCL	-170656.0708	113827.2915
a	-170652.6210	113832.6392
b	-170650.7231	113823.8416
c	-170661.4186	113830.7413
d	-170659.5207	113821.9437
e	-170654.1542	113830.2625
f	-170653.0998	113825.3749
g	-170659.0418	113829.2081
h	-170657.9874	113824.3205

P3橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170677.5554	113821.6081
KCL	-170677.7716	113822.6100
a	-170674.3217	113827.9578
b	-170672.4238	113819.1601
c	-170683.1193	113826.0599
d	-170681.2214	113817.2622
e	-170675.8550	113825.5810
f	-170674.8006	113820.6934
g	-170680.7426	113824.5266
h	-170679.6882	113819.6390

A2橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170699.3540	113816.9055
a	-170698.2071	113823.4444
b	-170696.0456	113813.4249
c	-170702.6050	113822.4954
d	-170700.4444	113812.4759
e	-170698.9737	113822.2560
f	-170697.2340	113814.1915
g	-170701.4175	113821.7288
h	-170699.6778	113813.6643

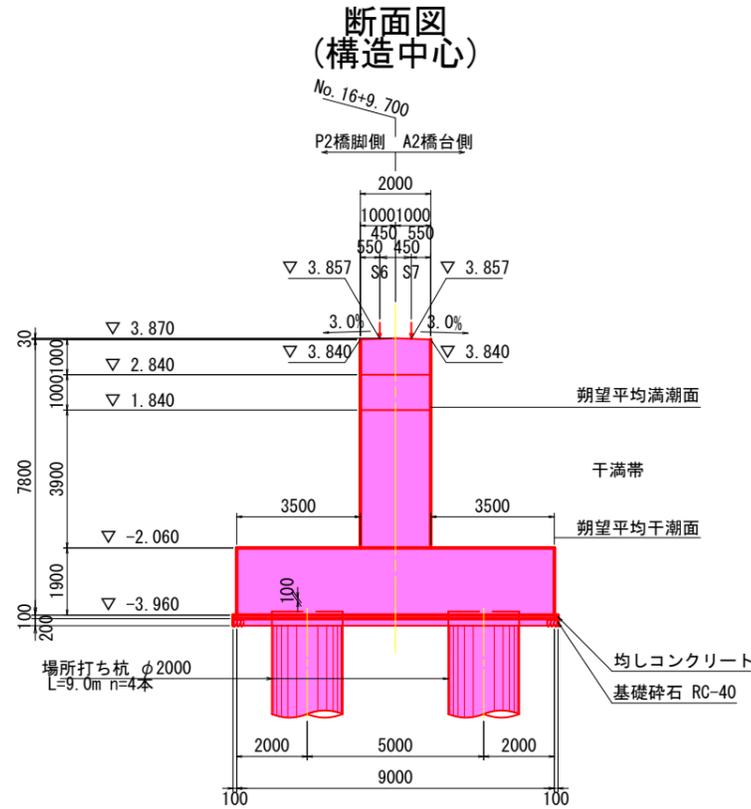
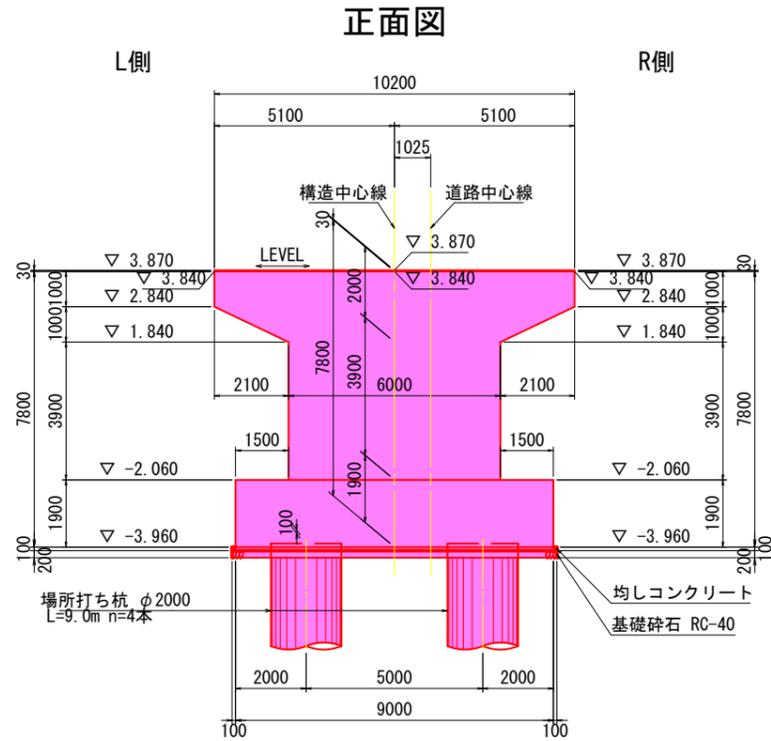


※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2025年(令和7年)7月

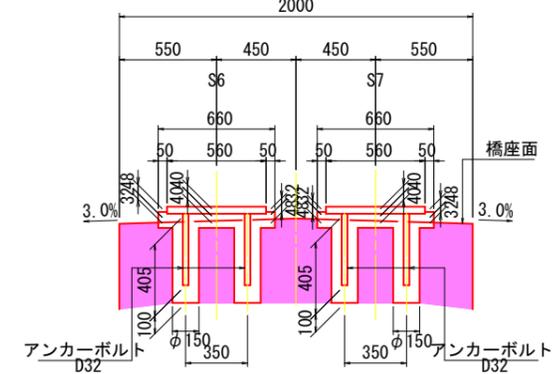
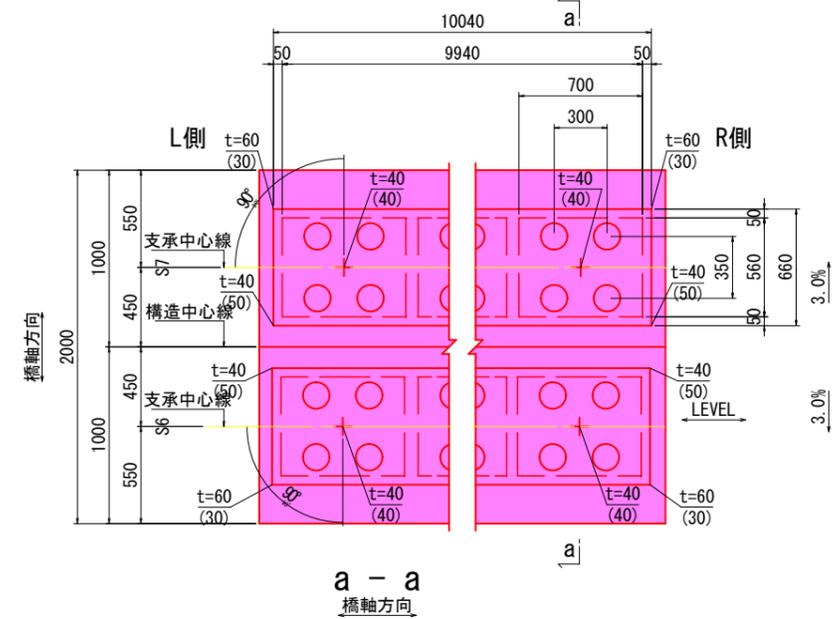
図面番号	3 / 17	縮尺	1:200
工種	道路改良工事		
種別	下部工座標図	番号	1 / 1
路線名	新渡箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P3橋脚構造一般図 S=1:100 (E)

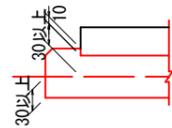


支承詳細図 S=1:20 平面図

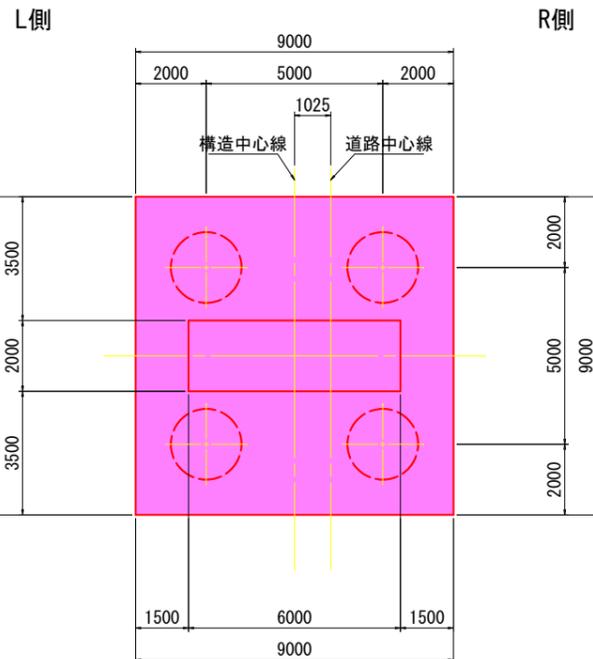
注) tはモルタル厚を示し、()内は箱抜き深さを示す。



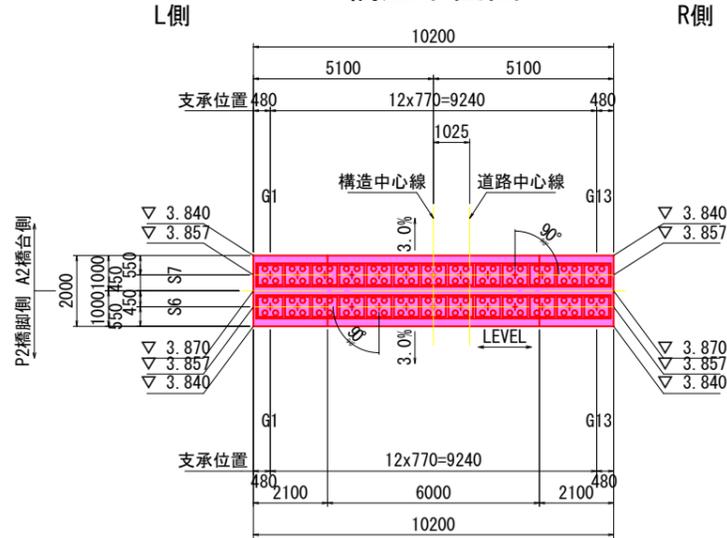
a部詳細図 S=1:5



底板平面図



橋座平面図



下部工計画高表 (単位:m)

	P3橋脚 (S6)			P3橋脚 (S7)		
	G1	CL	G13	G1	CL	G13
計画高	5.3207	5.2715	5.4690	5.3180	5.2688	5.4663
舗装厚	0.2206	0.1714	0.3689	0.2234	0.1743	0.3718
桁天端高	5.100	5.100	5.100	5.095	5.095	5.095
主桁高	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900
レアー厚	0.015	0.015	0.015	0.010	0.010	0.010
支承厚	0.288	0.288	0.288	0.288	0.288	0.288
モルタル厚	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
橋座高	3.857	3.857	3.857	3.857	3.857	3.857
支承線方向勾配	LEVEL			LEVEL		

注1) *印の舗装厚 (t) は、地覆高を含んだ厚さを示す。
注2) G13の計画高 (Z1), 舗装厚 (t) は、地覆天端勾配を考慮しない値とする。

下部工設計条件

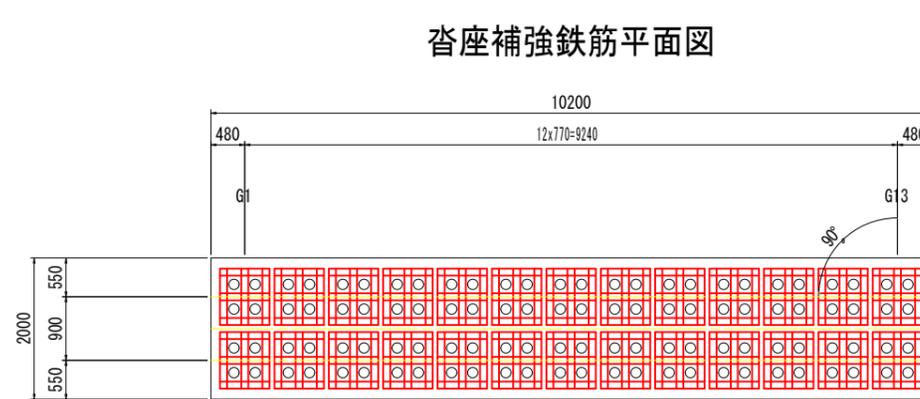
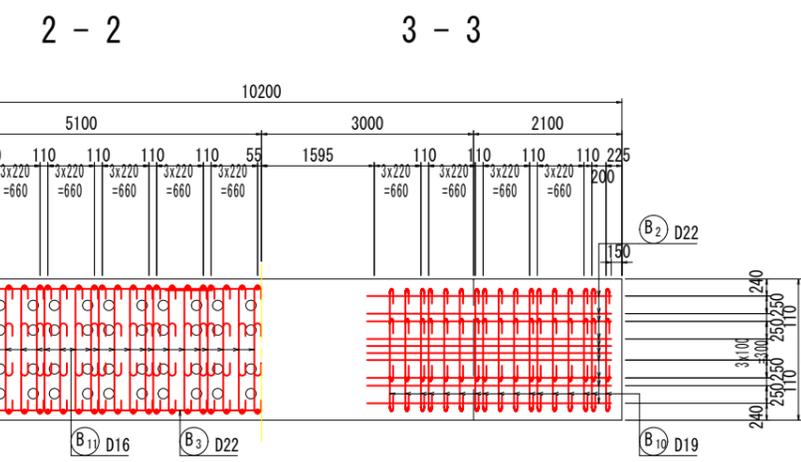
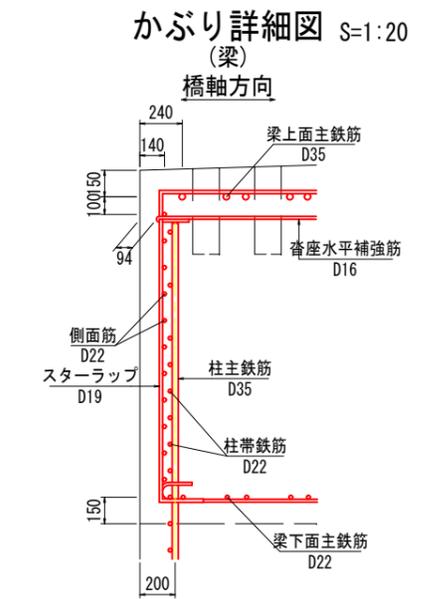
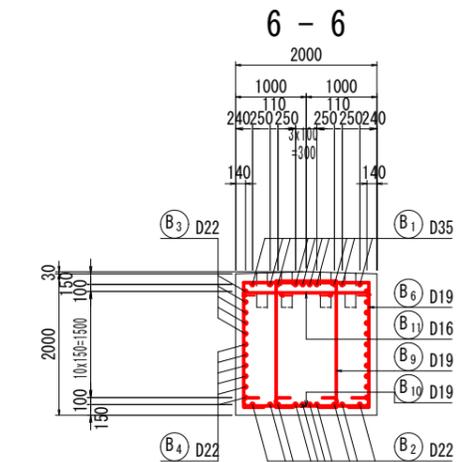
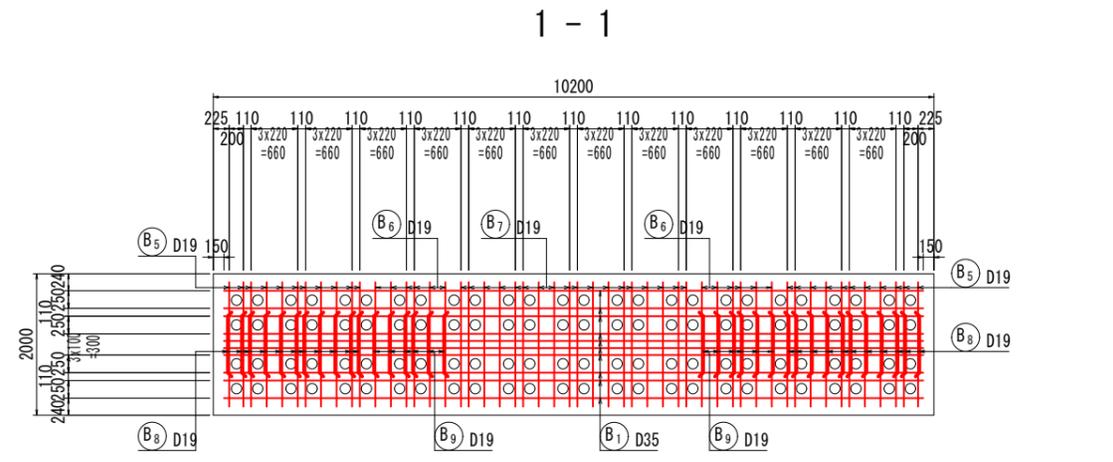
名称	仕様
上部工形式	プレテンション方式PC4径間連結ホロー桁橋
下部工形式	張出式橋脚
支承条件	分散支承
下部工設計基準強度	30 N/mm ² -20 (25)-12
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
基礎工形式	場所打ち杭 φ2000
基礎工設計基準強度	30 N/mm ² -20 (25)-18
基礎工鉄筋種別	SD 345
基礎工定着長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
埋害対策区分	埋害対策区分 S区分



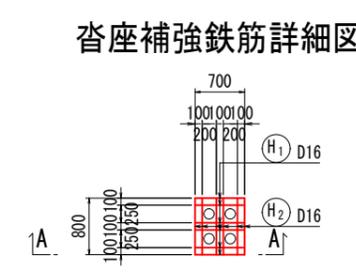
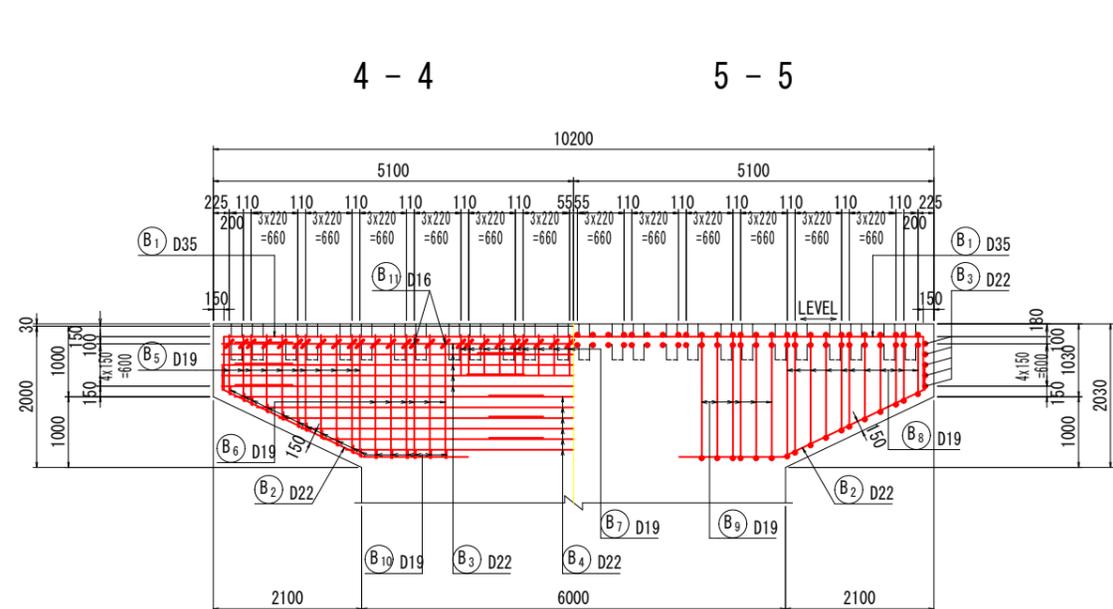
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	4 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚構造一般図	番号	1 / 1
路線名	新渥箕島線 (橋梁下部) ・ 7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

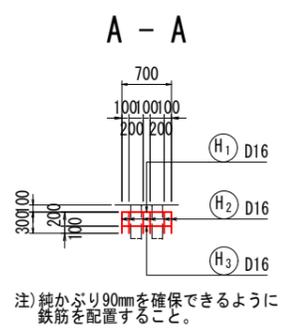
P3橋脚配筋図(その1) S=1:50



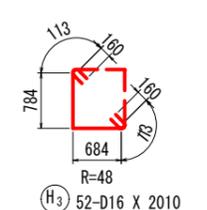
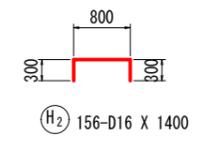
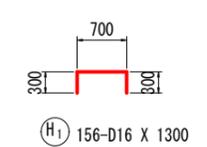
沓座補強鉄筋平面図



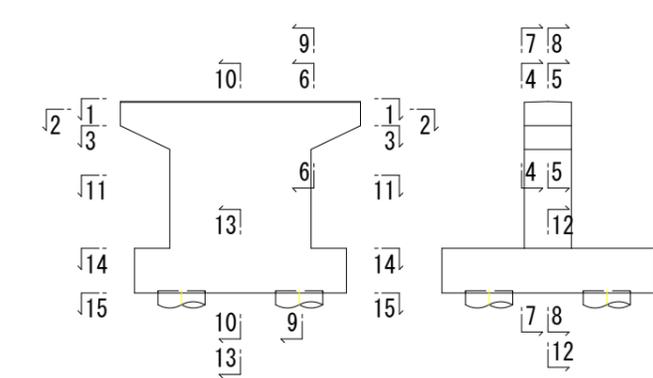
沓座補強鉄筋詳細図



注) 純かぶり90mmを確保できるように鉄筋を配置すること。



位置図



下部工設計条件

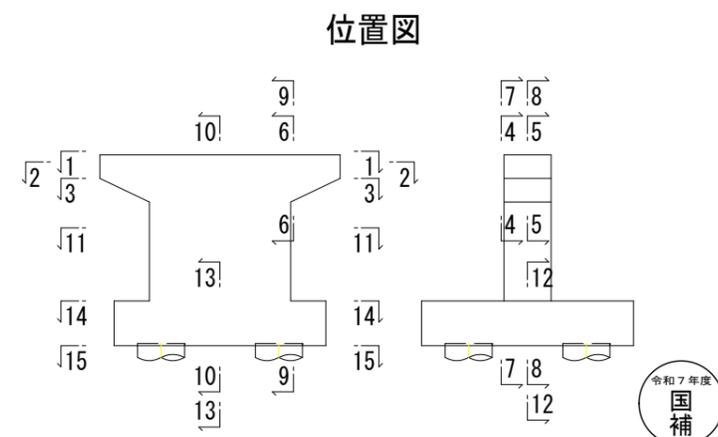
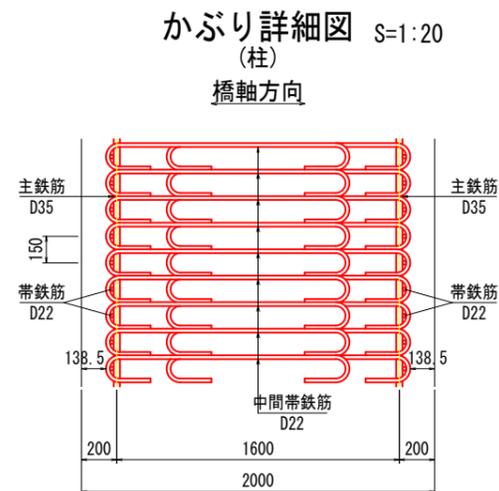
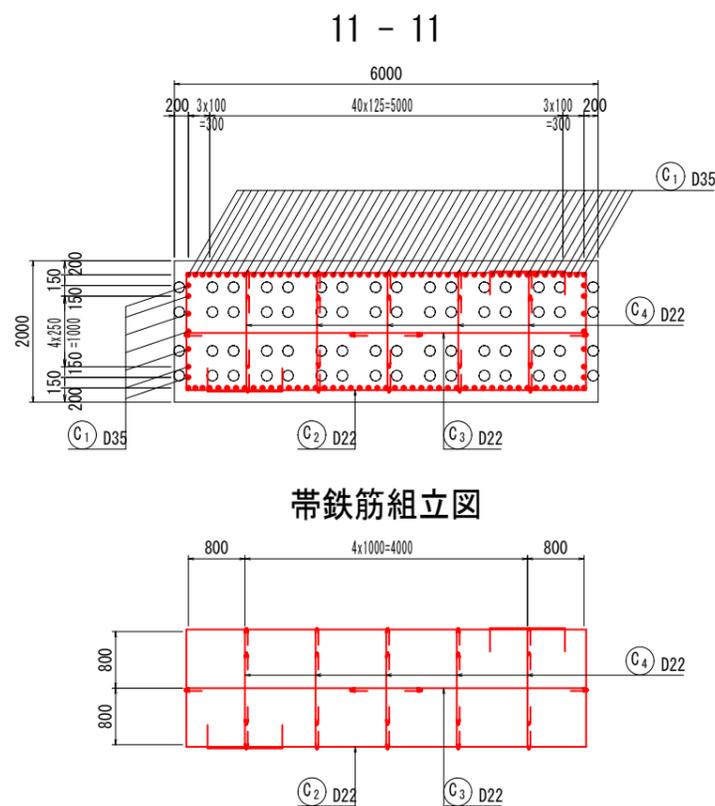
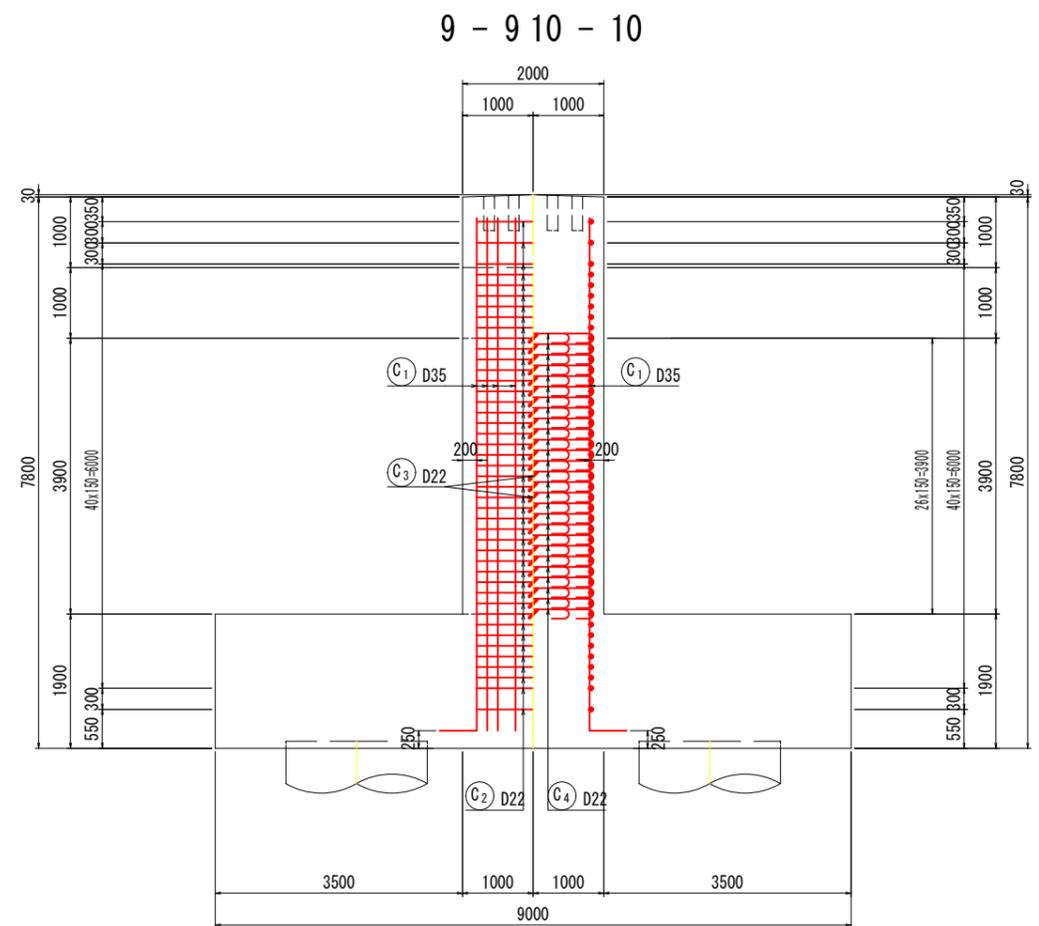
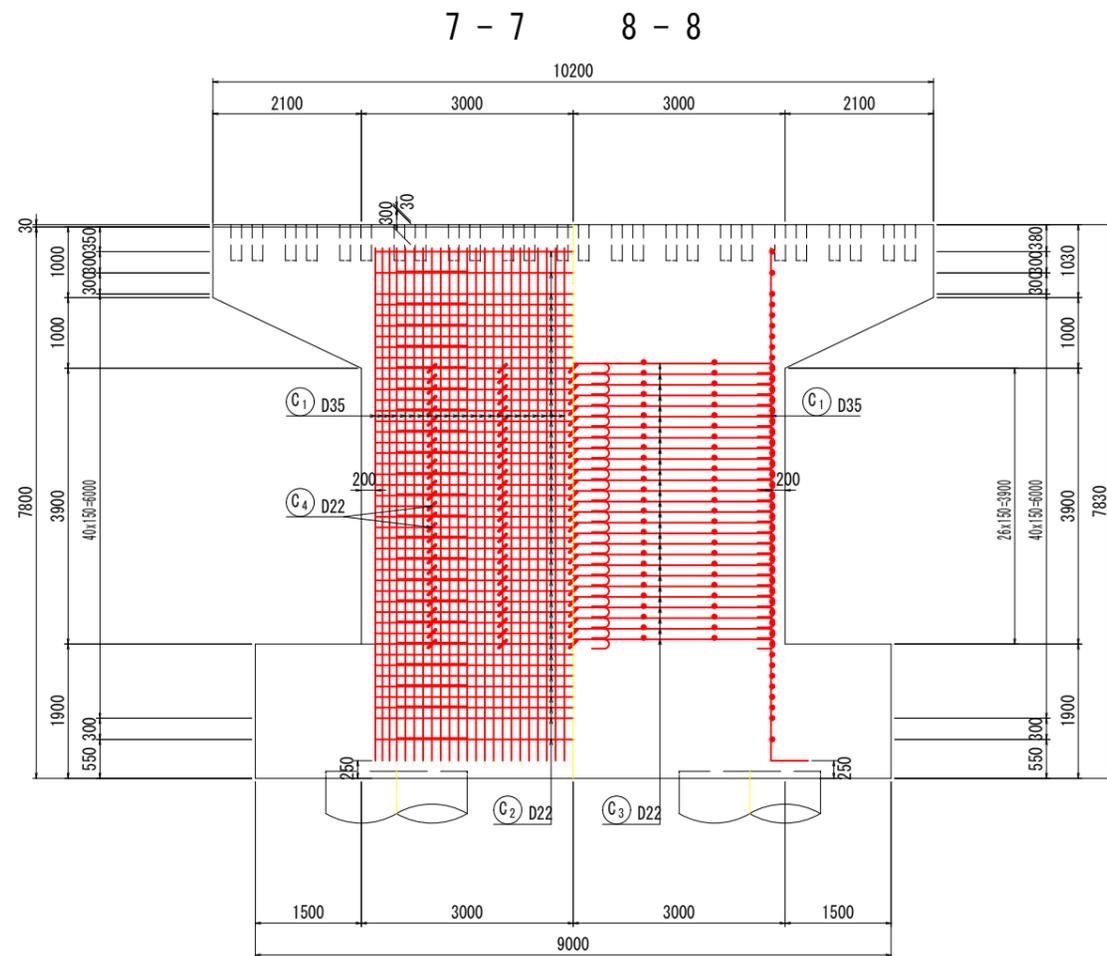
名称	仕様
下部工設計基準強度	30 N/mm ²
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	5 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚配筋図(その1) 番号 1/4		
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		



P3橋脚配筋図(その2) S=1:50



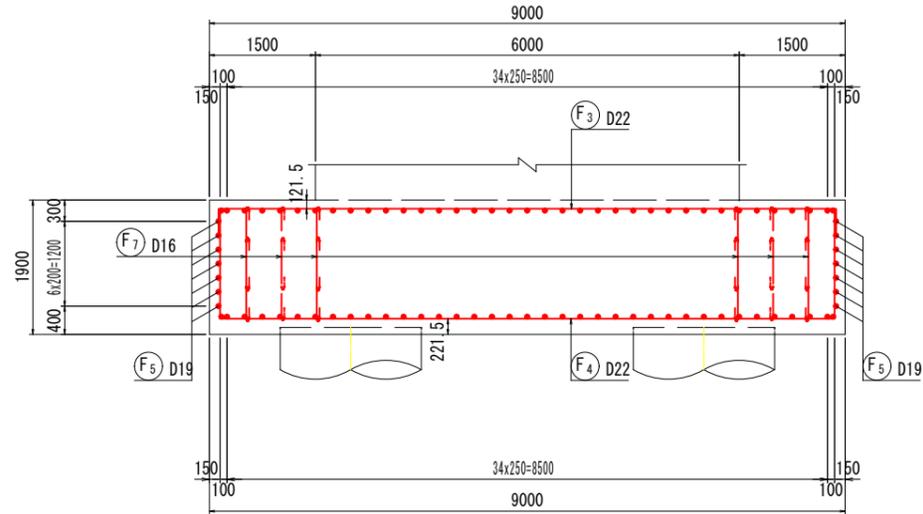
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	6 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚配筋図(その2)	番号	2 / 4
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

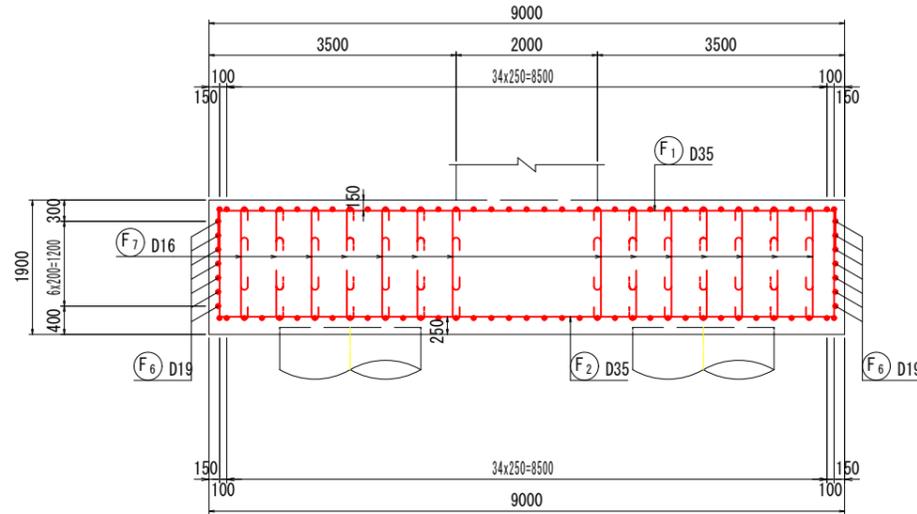


P3橋脚配筋図(その3) S=1:50

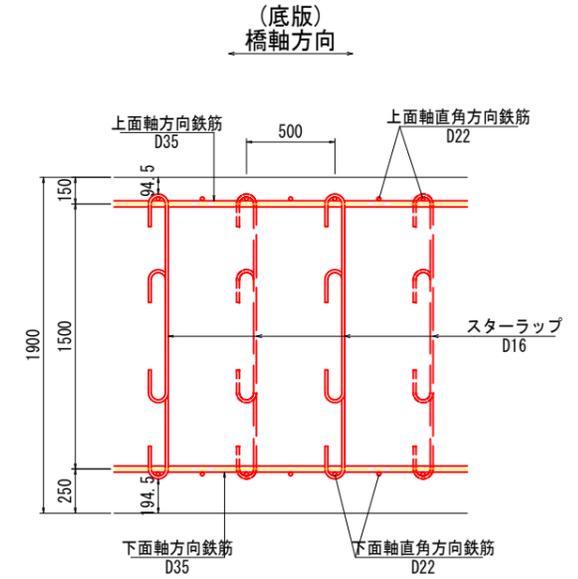
12 - 12



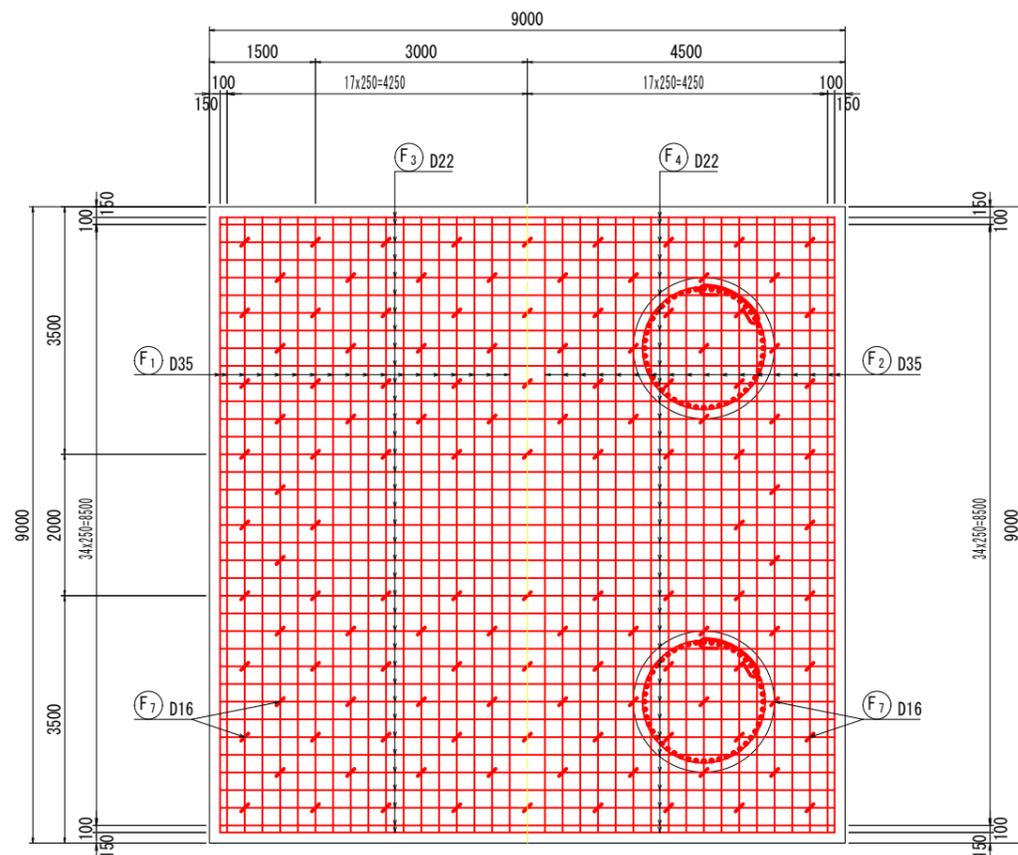
13 - 13



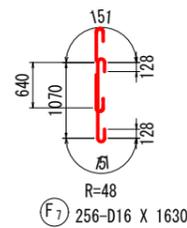
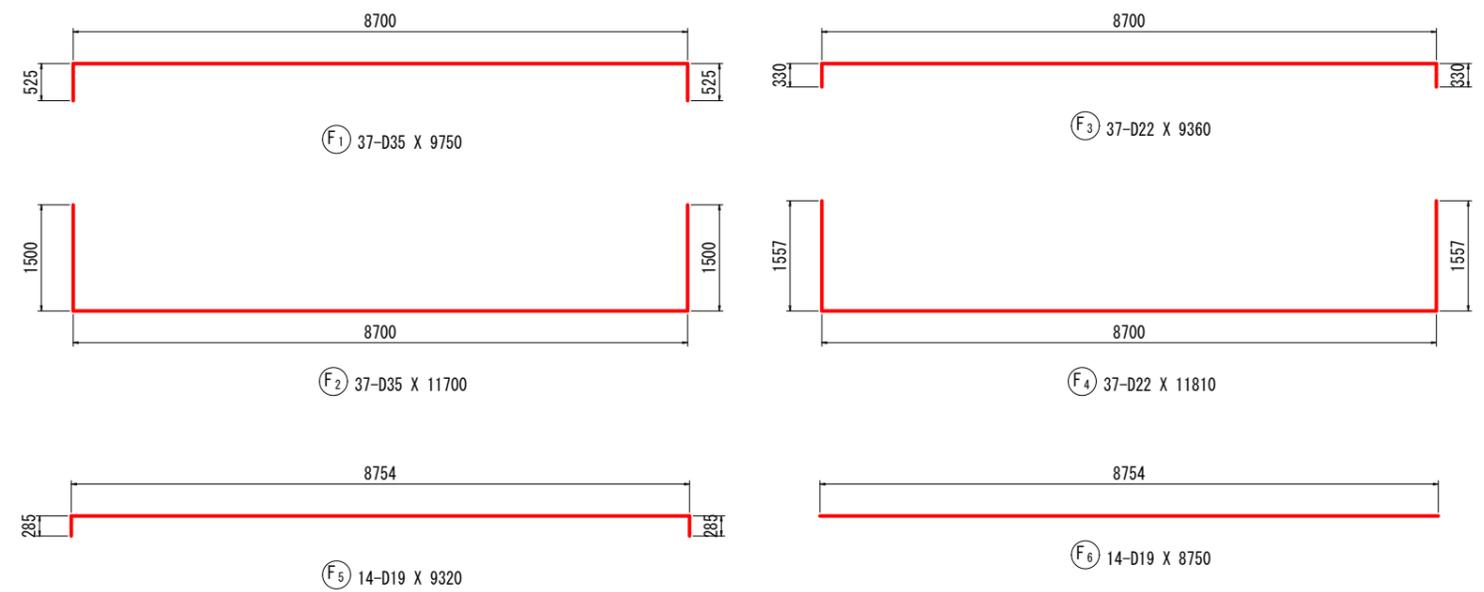
かぶり詳細図 S=1:20



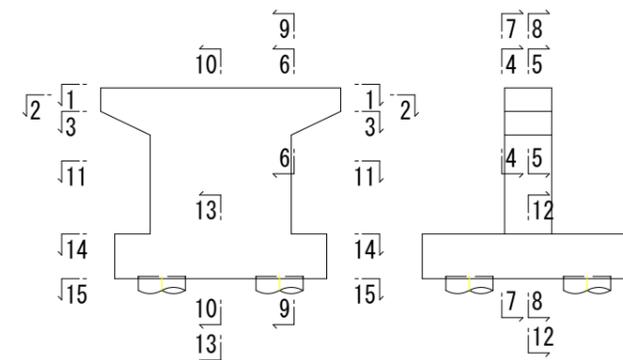
14 - 14



15 - 15



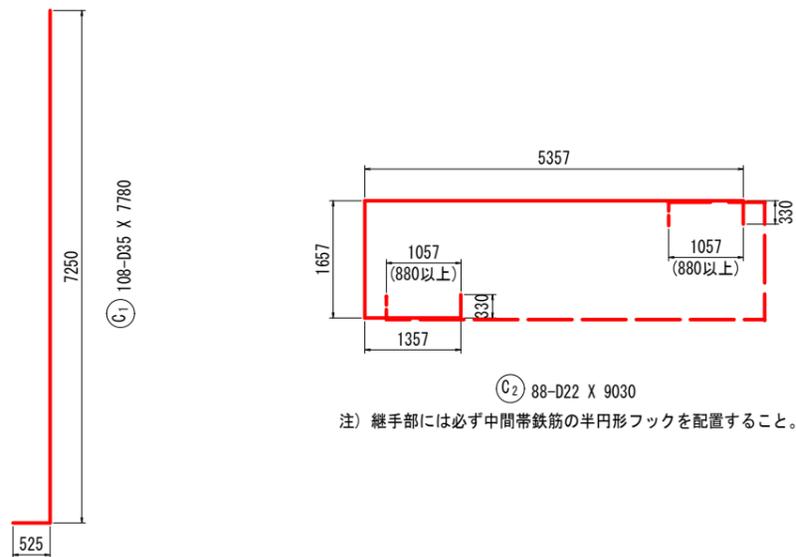
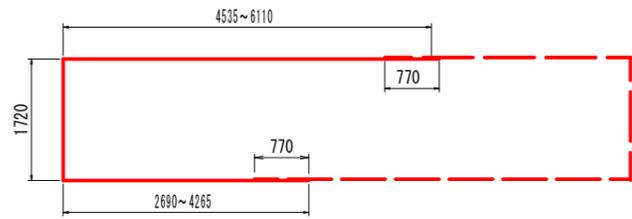
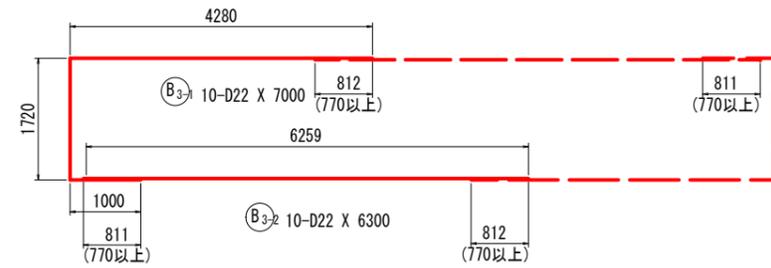
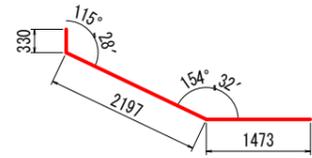
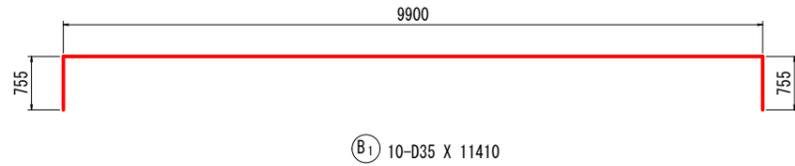
位置図



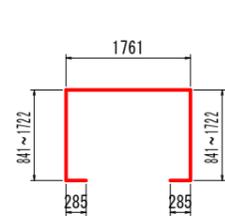
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	7 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚配筋図(その3)	番号	3 / 4
路線名	新渥箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

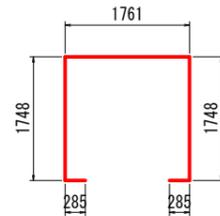
P3橋脚配筋図(その4) S=1:50



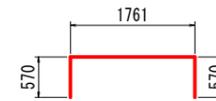
注) 継手部には必ず中間帯鉄筋の半円形フックを配置すること。



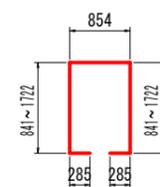
B5 22-D19 X 4890 (平均長)



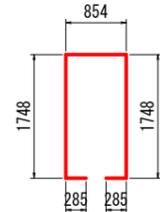
B6 12-D19 X 5830



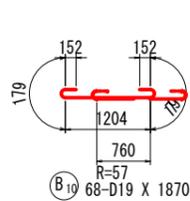
B7 18-D19 X 2900



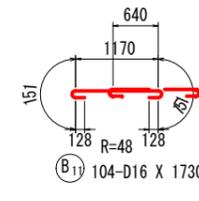
B8 22-D19 X 3990 (平均長)



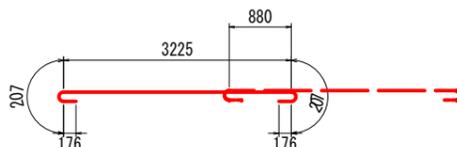
B9 12-D19 X 4920



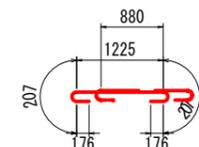
B10 68-D19 X 1870



B11 104-D16 X 1730



C3 54-D22 X 3990



C4 270-D22 X 1990

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B ₁	D35	11410	10	7.51	85.69	857	—
B ₂	D22	4000	20	3.04	12.16	243	—
B ₃₋₁	"	7000	10	"	21.28	213	—
B ₃₋₂	"	6300	10	"	19.15	192	—
B ₄	"	10520	12	"	31.98	384	(平均長)
B ₅	D19	4890	22	2.25	11.00	242	(平均長)
B ₆	"	5830	12	"	13.12	157	□
B ₇	"	2900	18	"	6.53	118	□
B ₈	"	3990	22	"	8.98	198	(平均長)
B ₉	"	4920	12	"	11.07	133	□
B ₁₀	"	1870	68	"	4.21	286	—
B ₁₁	D16	1730	104	1.56	2.70	281	—
3304							
C ₁	D35	7780	108	7.51	58.43	6310	
C ₂	D22	9030	88	3.04	27.45	2416	□
C ₃	"	3990	54	"	12.13	655	—
C ₄	"	1990	270	"	6.05	1634	—
11015							
F ₁	D35	9750	37	7.51	73.22	2709	—
F ₂	"	11700	37	"	87.87	3251	—
F ₃	D22	9360	37	3.04	28.45	1053	—
F ₄	"	11810	37	"	35.90	1328	—
F ₅	D19	9320	14	2.25	20.97	294	—
F ₆	"	8750	14	"	19.69	276	—
F ₇	D16	1630	256	1.56	2.54	650	—
9561							
H ₁	D16	1300	156	1.56	2.03	317	□
H ₂	"	1400	156	"	2.18	340	□
H ₃	"	2010	52	"	3.14	163	□
820							
合計 D35				13127	kg		
D22				8118	kg		
D19				1704	kg		
D16				1751	kg		
総質量				24700	kg		
鉄筋は、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。							

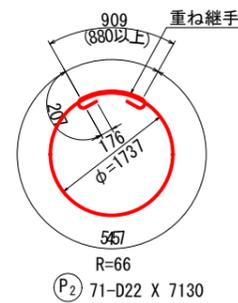
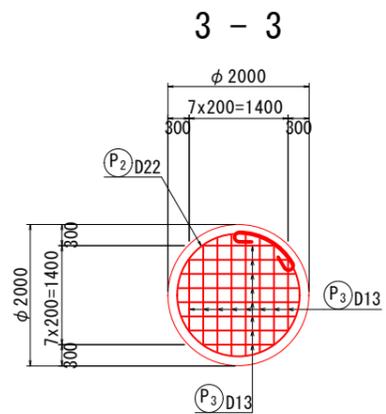
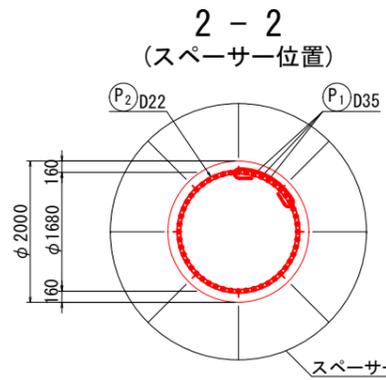
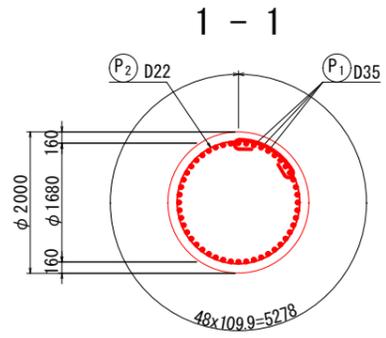
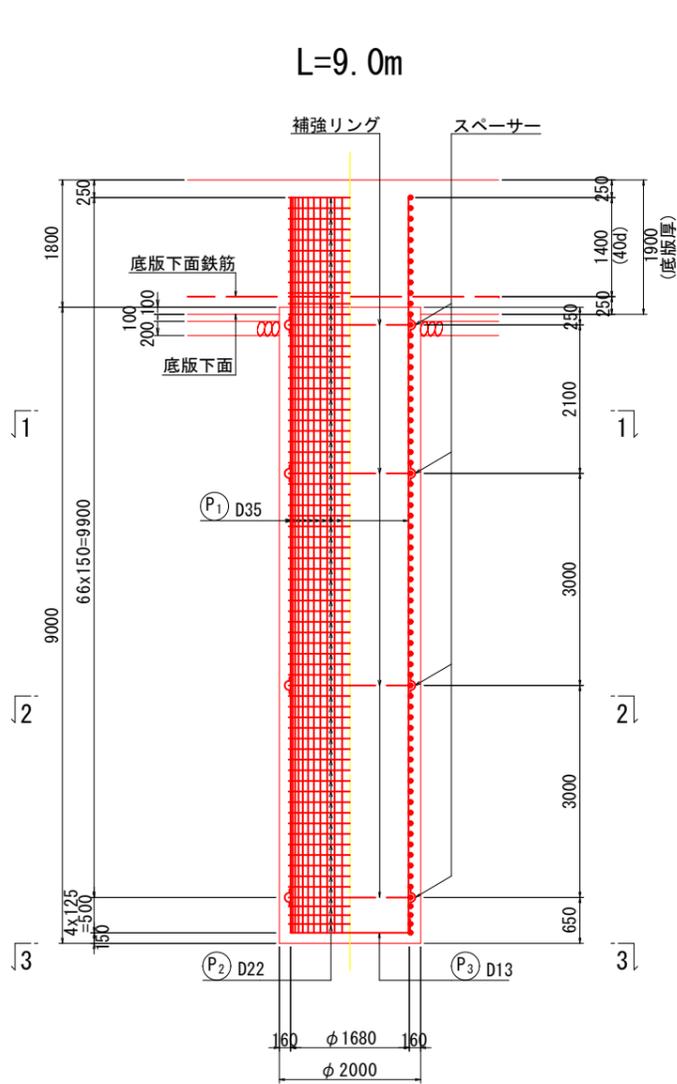


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	8 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚配筋図(その4)	番号	4 / 4
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P3橋脚場所打ち杭配筋図 S=1:50

注) 鉄筋の組立においては、組立上の形状保持などの溶接を行ってはいけません。



注) 継手部は高さ方向に千鳥状に配置すること。



③ 16-D13 X 1800 (平均長)

本数	l	L
4	968	1360
4	1377	1770
4	1593	1980
4	1690	2080
16		1800

① 48-D35 X 10400

鉄筋質量表 (SD345) (杭1本当り)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P ₁	D35	10400	48	7.51	78.10	3749	○
P ₂	D22	7130	71	3.04	21.68	1539	○
P ₃	D13	1800	16	0.995	1.79	29	○ (平均長)
						5317	
				杭1本当り		1基当り	
合計D35				3749 kg	x 4本	= 14996 kg	
D22				1539 kg	x 4本	= 6156 kg	
D13				29 kg	x 4本	= 116 kg	
総質量				5317 kg	x 4本	= 21268 kg	

補強リング, 固定金具 (杭1本当り)

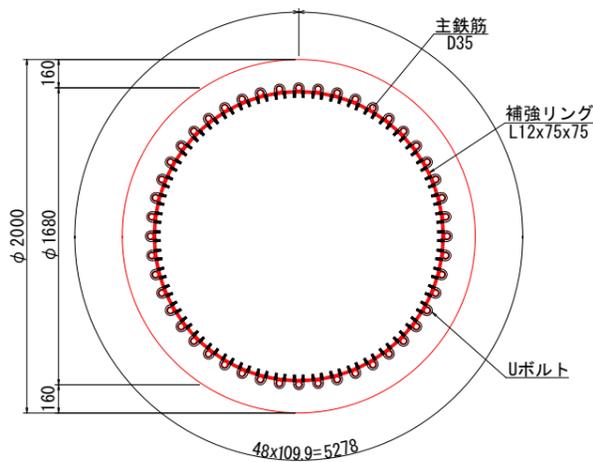
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 12 x 75 x 75	5168	4	13.0	67.18	269	補強リング
Uボルト D35用	-	192	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

スペーサー固定金具 (杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト D35用	-	64	-	-	-	スペーサーと主鉄筋の固定
FB 30 x 4	80	64	0.942	0.08	5	Uボルト固定用

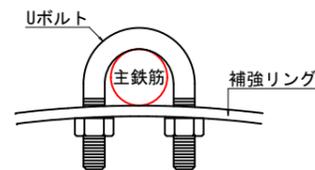
※Uボルト規格 D35用, SS400, 変形時荷重30kN以上 「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」に準拠する。

補強リング固定金具配置図 S=1:20



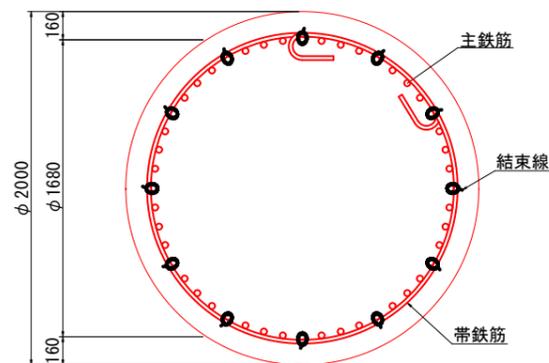
注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

固定金具参考図 S=1:2



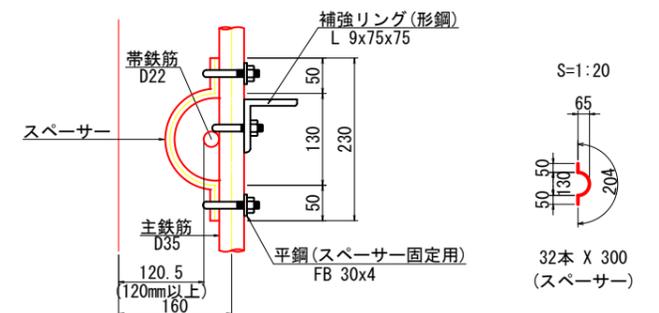
注) 1. 固定金具は、Uボルト又は同等品とする。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

主鉄筋, 帯鉄筋結束参考図 S=1:20



注) 主鉄筋と帯鉄筋の交点は、主鉄筋3~4本おき程度に結束線等で固定する。

かぶり詳細図 S=1:5



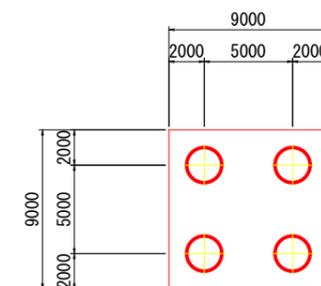
注) スペーサーは、1断面当り8箇所以上に配置する。また、上下を1箇所ずつ金具で固定すること。

基礎工設計条件

名称	仕様
基礎工設計基準強度	24 N/mm ² (呼び強度 30 N/mm ²)
基礎工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

杭配置図 S=1:200



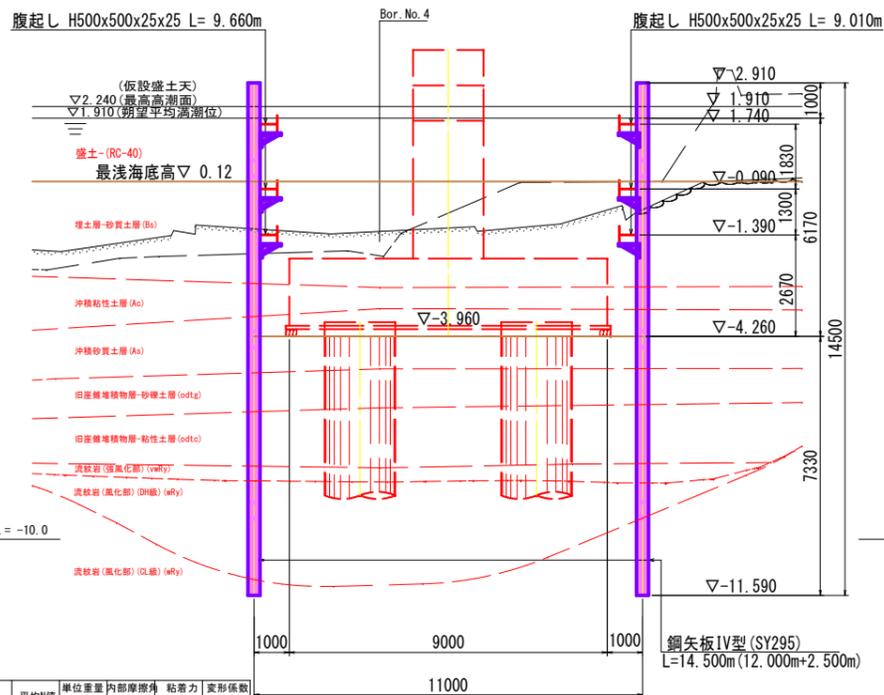
令和7年度
国補

図面番号	9 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚場所打ち杭配筋図	番号	1 / 1
路線名	新渥美島線 (橋梁下部) ・ 7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P3橋脚仮締切工詳細図(1/2) S=1:100

注1) 鋼矢板打設は硬質地盤クリア工法にて、打設する。
注2) 特記無き部材はすべてSS400とする。

A-A



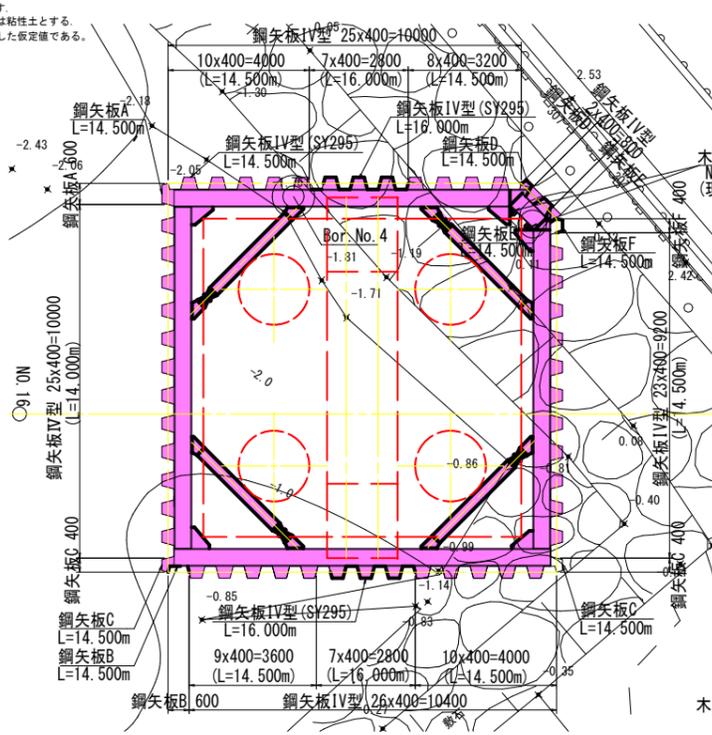
鋼矢板平面図

B

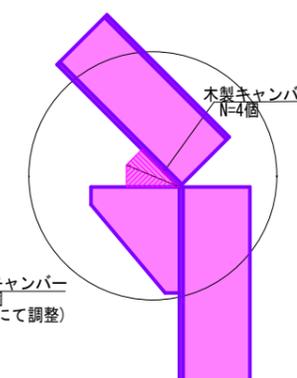
土質定数一覧表 (P3)

層高	層厚	土質	平均N値	単位重量	内部摩擦角	粘着力	変形係数
(m)	(m)		(回)	(kN/m ³)	(°)	(kN/m ²)	(kN/m ²)
2.240	3.820	盛土	10	20.0	35	0	28,000
①	0.000	砂質土	8	17.0	32	0	22,400
②	-1.580	粘性土	1	14.0	0	6	3,200
③	-3.480	砂質土	2	17.0	25	0	460
④	-5.180	砂質土	11	18.0	34	0	30,800
⑤	-6.280	粘性土	10	18.0	0	60	28,000
⑥	-7.980	砂質土	12	18.0	35	0	33,600
⑦	0.000	粘性土	66	19.0	34	100	188,000
⑧	-8.380	粘性土	300	21.0	38	170	544,000

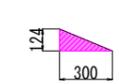
※1 層高、層厚は海面高からの層高、層厚を示す。
※2 粘着力を考慮するため、粘着力のある土質は粘性土とする。
※3 盛土の土質定数は締め固め土質を想定した仮定値である。



B



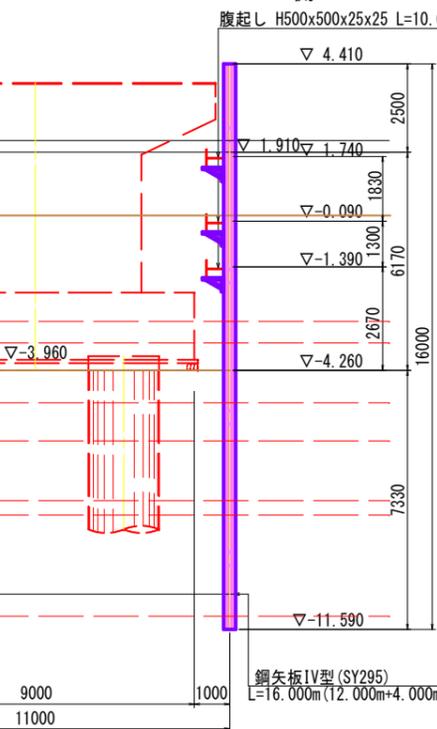
木製キャンパー詳細図(参考図)



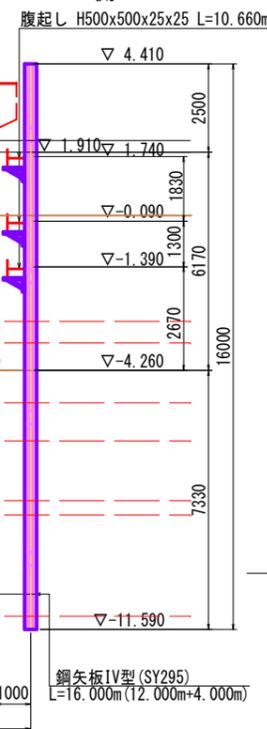
L側



B-B

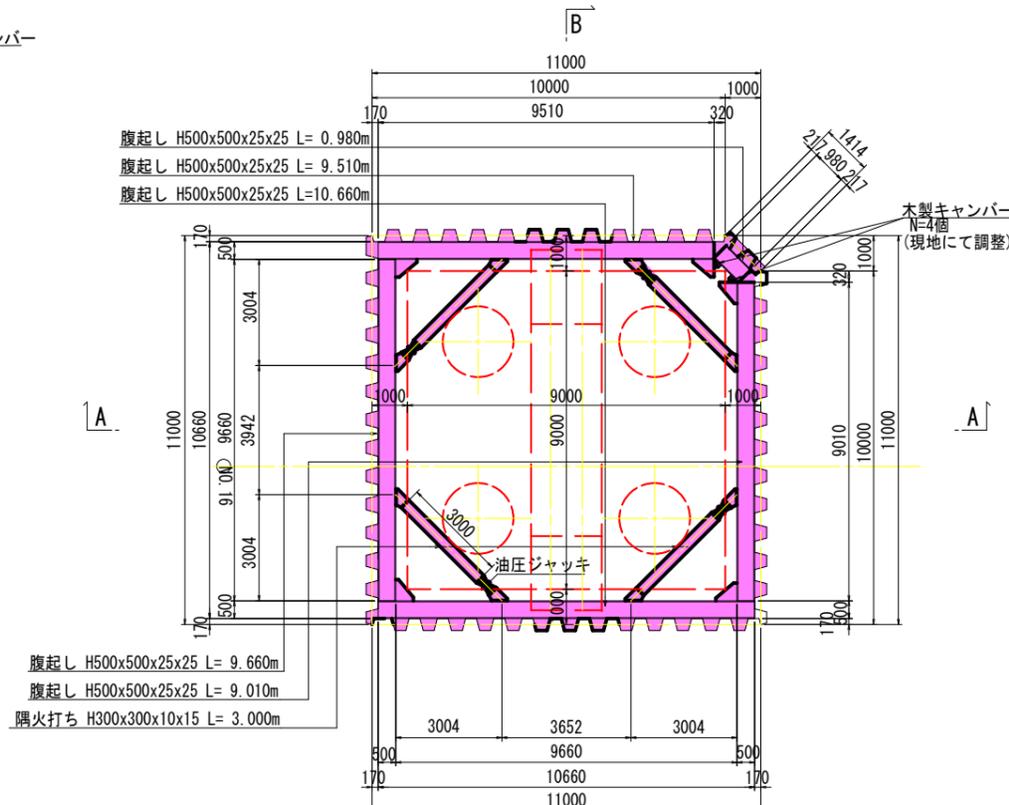


R側



支保工平面図

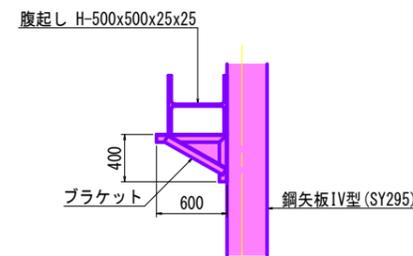
B



B

注) クラッシュパイラーの施工に伴いパイピングが生じる可能性があるため、生じた場合には棄注を行うこと。

ブラケット詳細図 S=1:30



指定仮設(土留・仮締切工)

施工中の既設海洋保全施設の安定を確保するため、
施設管理者と協議の上、仮締切工の形状を決定している。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している

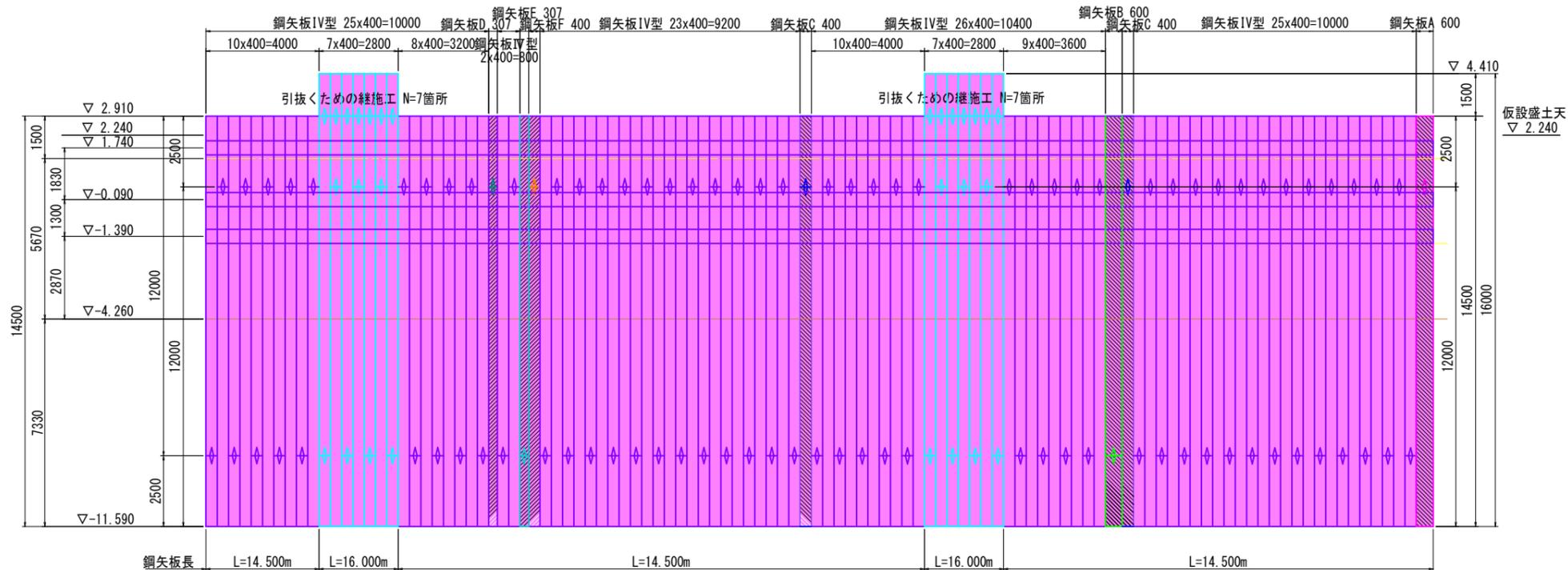
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	10 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚仮締切工詳細図(1/2)	番号	1 / 2
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P3橋脚仮締切工詳細図(2/2) S=1:100

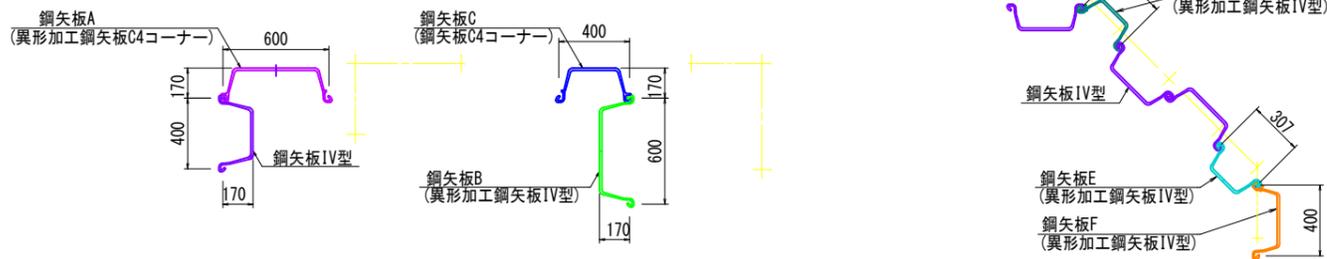
継手位置図

- 注1) 継手位置は、隣接継手と上下方向1m以上離れた千鳥配置とすること。
- 注2) ▲は継手位置を示す。
- 注3) ハッチングは異形加工鋼矢板およびコーナー鋼矢板を示す。
- 注4) 継手の設置は陸上にて行うこと。



異形加工鋼矢板詳細図 S=1:30

異形加工鋼矢板接続部



异形加工詳細図: 鋼矢板A		异形加工詳細図: 鋼矢板D		异形加工詳細図: 鋼矢板F	
加工後	材料	加工後	材料	加工後	材料
鋼矢板A (异形加工鋼矢板C4コーナー)	鋼矢板C (鋼矢板C4コーナー)	鋼矢板D (异形加工鋼矢板IV型)	鋼矢板IV型	鋼矢板F (异形加工鋼矢板IV型)	鋼矢板IV型
异形加工詳細図: 鋼矢板B		异形加工詳細図: 鋼矢板E			
加工後	材料	加工後	材料		
鋼矢板B (异形加工鋼矢板IV型)	鋼矢板IV型	鋼矢板E (异形加工鋼矢板IV型)	鋼矢板IV型		

鋼材質量表

種別	寸法	材質	長さ	本数	単位質量	質量	備考	
鋼矢板	IV型	SY295	12000	101	76.1	92233		
鋼矢板	IV型	SY295	2500	101	76.1	19215		
鋼矢板	IV型	SY295	1500	14	76.1	1598		
鋼矢板	鋼矢板C: 鋼矢板C4コーナー	SY295	12000	2	76.1	1826		
鋼矢板	鋼矢板C: 鋼矢板C4コーナー	SY295	2500	2	76.1	381		
鋼矢板	鋼矢板A:	SY295	12000	1	114.2	1370		
鋼矢板	鋼矢板A:	SY295	2500	1	114.2	286		
鋼矢板	鋼矢板B:	SY295	12000	1	114.2	1370		
鋼矢板	鋼矢板B:	SY295	2500	1	114.2	286		
鋼矢板	鋼矢板D:	SY295	12000	1	58.4	701		
鋼矢板	鋼矢板D:	SY295	2500	1	58.4	146		
鋼矢板	鋼矢板E:	SY295	12000	1	58.4	701		
鋼矢板	鋼矢板E:	SY295	2500	1	58.4	146		
鋼矢板	鋼矢板F:	SY295	12000	1	76.1	913		
鋼矢板	鋼矢板F:	SY295	2500	1	76.1	190		
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	10660	3	300.0	9594	加工材	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	9660	3	300.0	8694	加工材	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	9510	3	300.0	8559	加工材	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	9010	3	300.0	8109	加工材	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	980	3	300.0	882	加工材	
隅火打ち	H - 300 x 300 x 10 x 15	SS400	3000	12	100.0	3600	加工材	
						合計	160800 kg	
鋼矢板	IV型	(SY295) (引抜き)	L=16.000m			17046	kg	
鋼矢板	IV型	(SY295) (引抜き)	L=14.500m			96000	kg	
鋼矢板C: 鋼矢板C4コーナー		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			2207	kg	
鋼矢板A:		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			1656	kg	
鋼矢板B:		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			1656	kg	
鋼矢板D:		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			847	kg	
鋼矢板E:		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			847	kg	
鋼矢板F:		(SY295) (引抜き)	L=14.500m			1103	kg	
合計 (鋼矢板)							121362	kg
主部材		H - 500 x 500 x 25 x 25 (SS400) (加工材)				35838	kg	
		H - 300 x 300 x 10 x 15 (SS400) (加工材)				3600	kg	
小計 (主部材)							39438	kg
副部材 (A)		主部材 x 0.22				8676	kg	
副部材 (B)		主部材 x 0.04				1578	kg	
小計 (副部材)							10254	kg
合計 (主部材+副部材)							49692	kg
運搬質量 (主部材+副部材 (A))							48114	kg
异形加工鋼矢板								
鋼矢板A: 异形加工鋼矢板C4コーナー			L=14.500m			1	枚	
鋼矢板B: 异形加工鋼矢板IV型			L=14.500m			1	枚	
鋼矢板D: 异形加工鋼矢板IV型			L=14.500m			1	枚	
鋼矢板E: 异形加工鋼矢板IV型			L=14.500m			1	枚	
鋼矢板F: 异形加工鋼矢板IV型			L=14.500m			1	枚	
横継施工箇所						N=	108	箇所
継足し溶接箇所						N=	14	箇所
木製キャンバー						N=	12	個

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

指定仮設(土留・仮締切工)

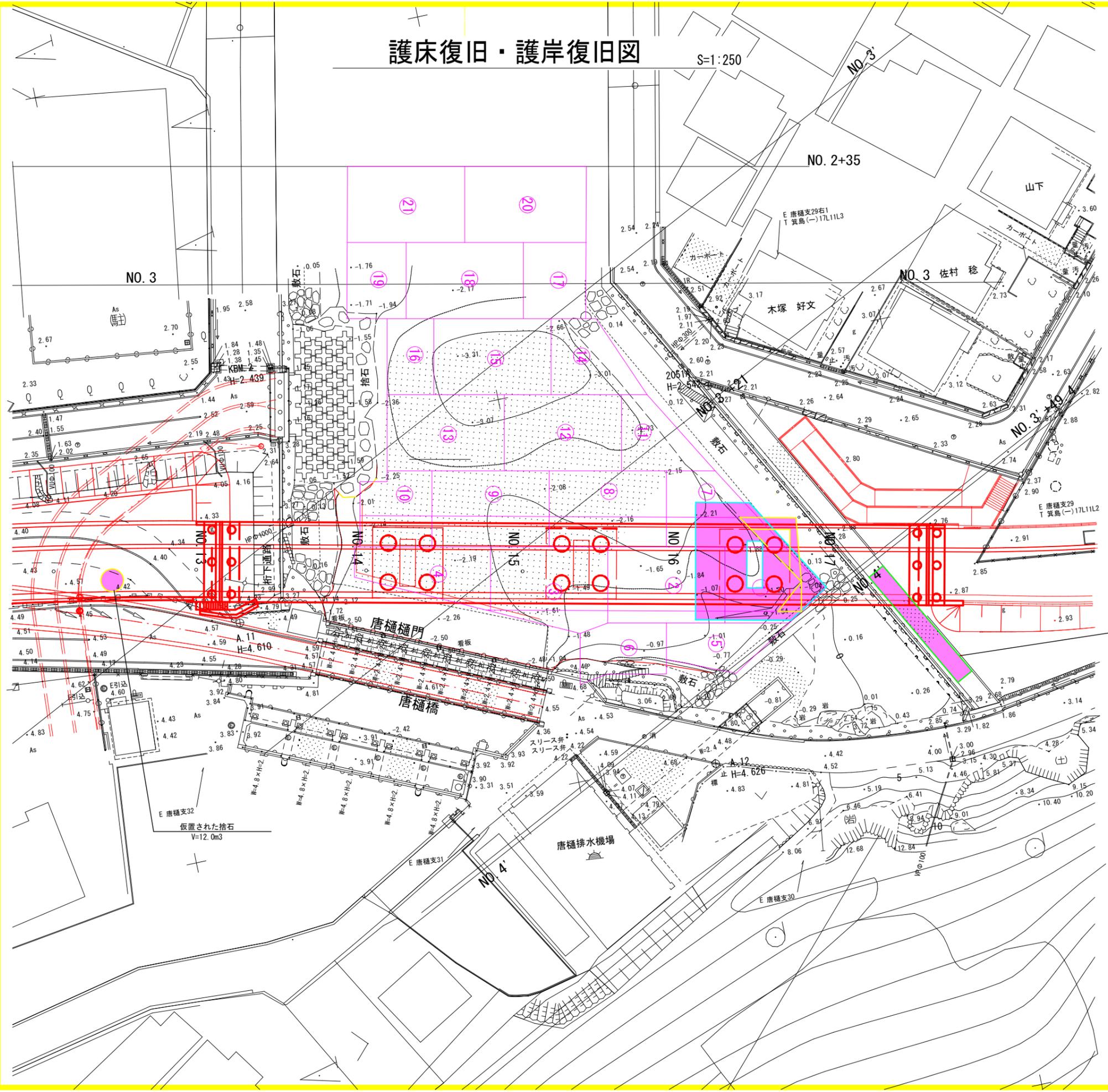
施工中の既設海洋保全施設の安定を確保するため、
施設管理者と協議の上、仮締切工の形状を決定している。



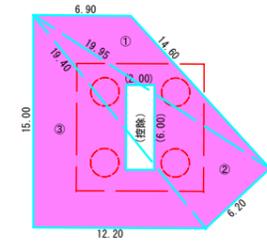
図面番号	11 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚仮締切工詳細図 (2/2)	番号	2 / 2
路線名	新渥箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

護床復旧・護岸復旧図

S=1:250



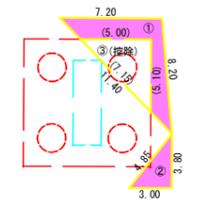
護床復旧工 (布製型枠復旧) 厚 t=10cm



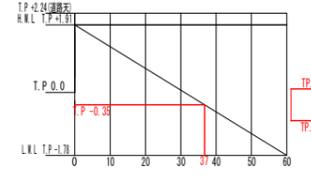
護床復旧工 (布製型枠復旧)					ヘロンの公式		
番号	a	b	c	s	面積	単位	
①	6.90	14.60	19.95	20.725	36.88	m ²	
②	19.95	6.20	19.40	22.775	59.99	m ²	
③	19.40	12.20	15.00	23.300	91.50	m ²	
控除	-				(2.00×6.00)	-12.00	m ²
					合計	176.37	m ²

数量計算
布製型枠 A=176.37≒176.4m²

護岸復旧工 (捨石復旧) 平均厚 t=35cm



湖待ち作業割増表
捨石復旧



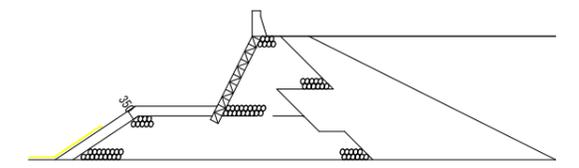
護岸復旧工 (捨石復旧)					ヘロンの公式		
番号	a	b	c	s	面積	単位	
①	7.20	8.20	11.40	13.400	29.39	m ²	
②	4.85	3.80	3.00	5.825	5.70	m ²	
控除③	5.00	5.10	7.15	8.625	-12.75	m ²	
					合計	22.34	m ²

数量計算
積込 V=7.8m³
自工区内運搬 V=7.8m³
捨石復旧 V=22.34×0.35=7.819≒7.8m³
積込 V=12.0-7.8=4.2m³
残石運搬 V=4.2m³
残石処分 V=4.2m³

護岸復旧工 (水叩き復旧) 水叩き厚 20cm (L17.60m×W2.35m×t0.20m)

数量計算
掘削 V=8.3m³
基面整正 A=17.60×2.35=41.4m²
水叩き復旧 V=17.60×2.35×0.20=8.272≒8.3m³
残土運搬 V=8.3m³

護岸横断面図



捨石:200~400kg/個
*護床工の復旧は、橋脚の柱部を除く撤去した範囲を復旧する。
*捨石は、撤去した範囲を復旧する。

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

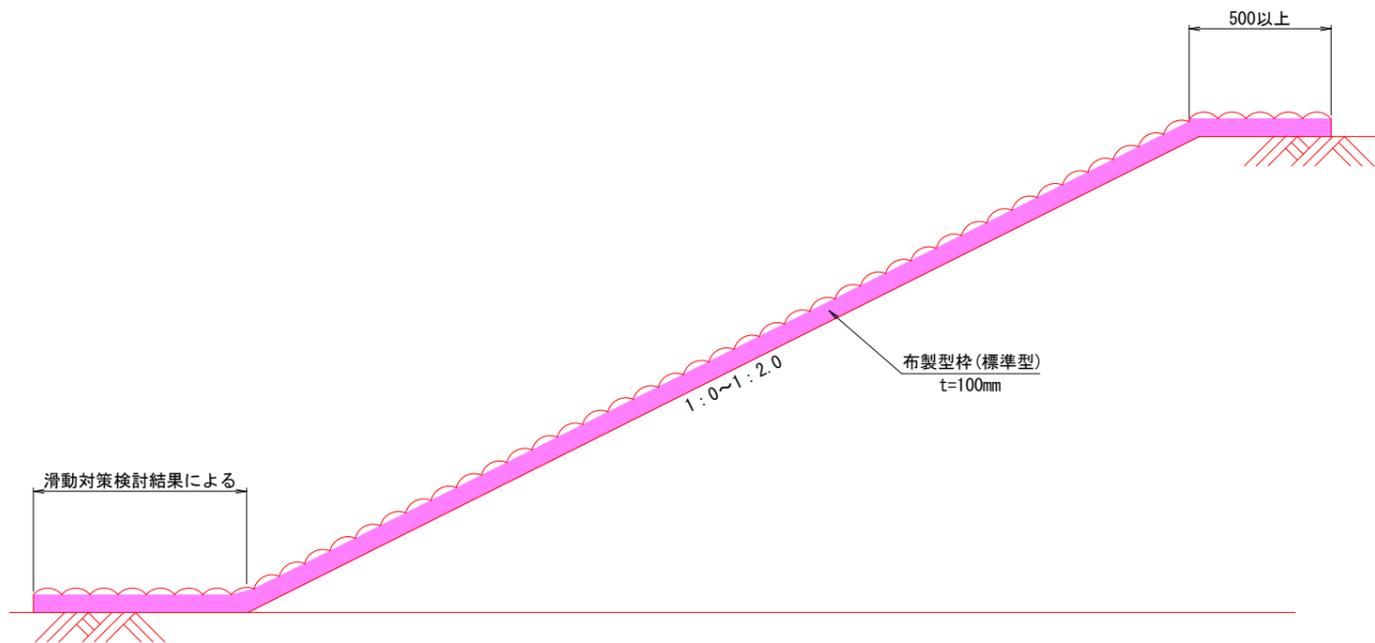
図面番号	12 / 17	縮尺	1:250
工種	道路改良工事		
種別	護床復旧・護岸復旧図	番号	1 / 1
路線名	新渥箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		



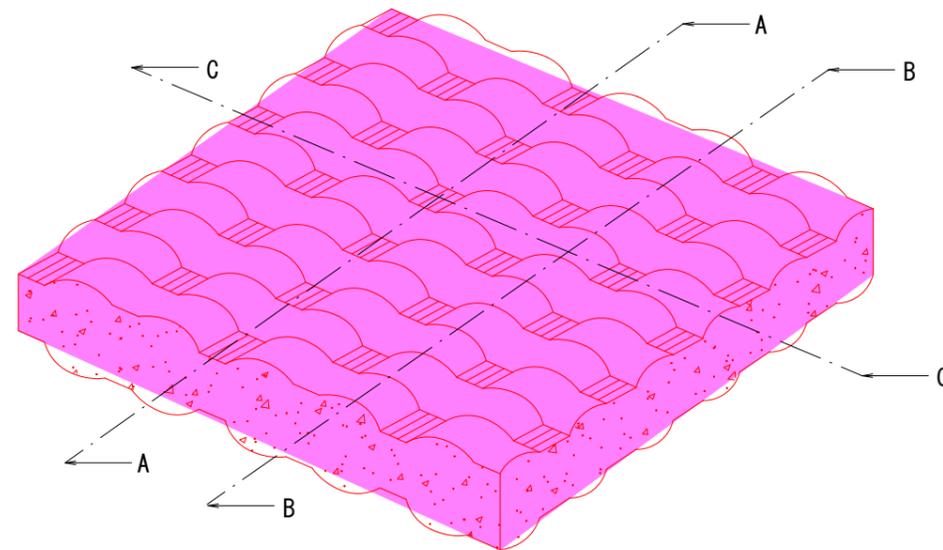
布製型枠標準図

(水抜部無し 平均厚100mm)

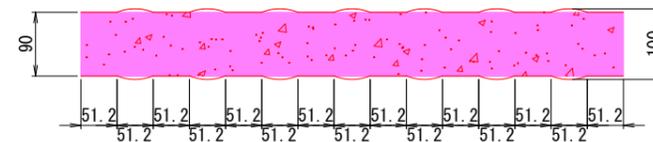
標準断面図 S=1:20



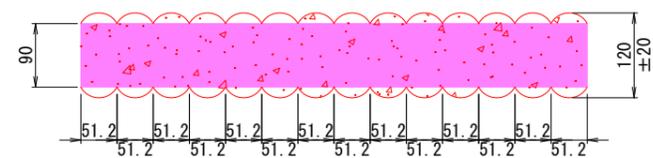
構造図 S=1:5



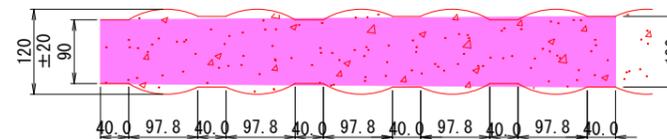
A-A断面



B-B断面



C-C断面



仕様 (* 施工面積100m2当り)

規格	平均厚さ (mm)	最大厚さ (mm)	最小厚さ (mm)	注入材料	注入量 (m3)*
標準型 (水抜部無し)	100	120±20	90	モルタル	12.0

* 現場条件により厚み公差がある。

注入モルタル配合表 (参考)

セメント	単位量 (kg/m3)			水・セメント比 (%)	フロー値 (秒)	備考
	細骨材(粗砂)	細骨材(細砂)	水			
C	S1	S2	W	(W/C)	18±3	フロー値はPロートで測定 現地状況により流動化剤を添加
585	871	372	380	65		

* 但し上記配合表は参考であり、現地条件によりそれぞれ検討し (試験練により) 決定すること。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	13 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	布製型枠標準図	番号	1 / 1
路線名	新渥箕島線 (橋梁下部) ・ 7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

【仮設盛土撤去の概要】

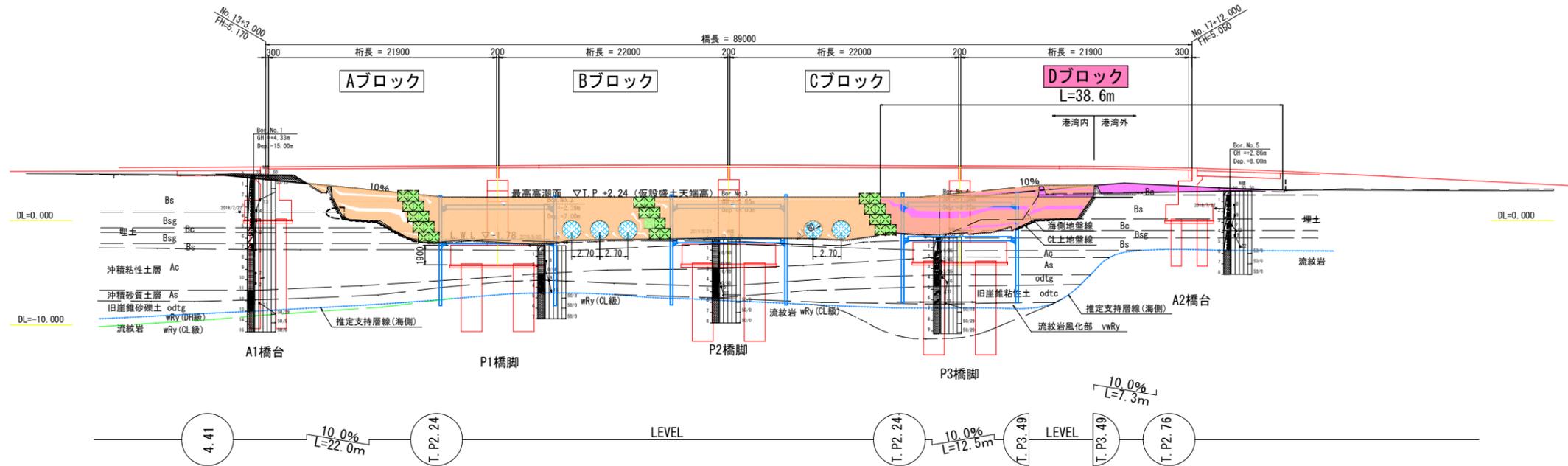
仮設盛土の撤去に際しては、箕島町側から工事用重機械を搬入することが難しいため、新涯側から工事用重機械を搬入し施工する。

仮設盛土撤去図(1)

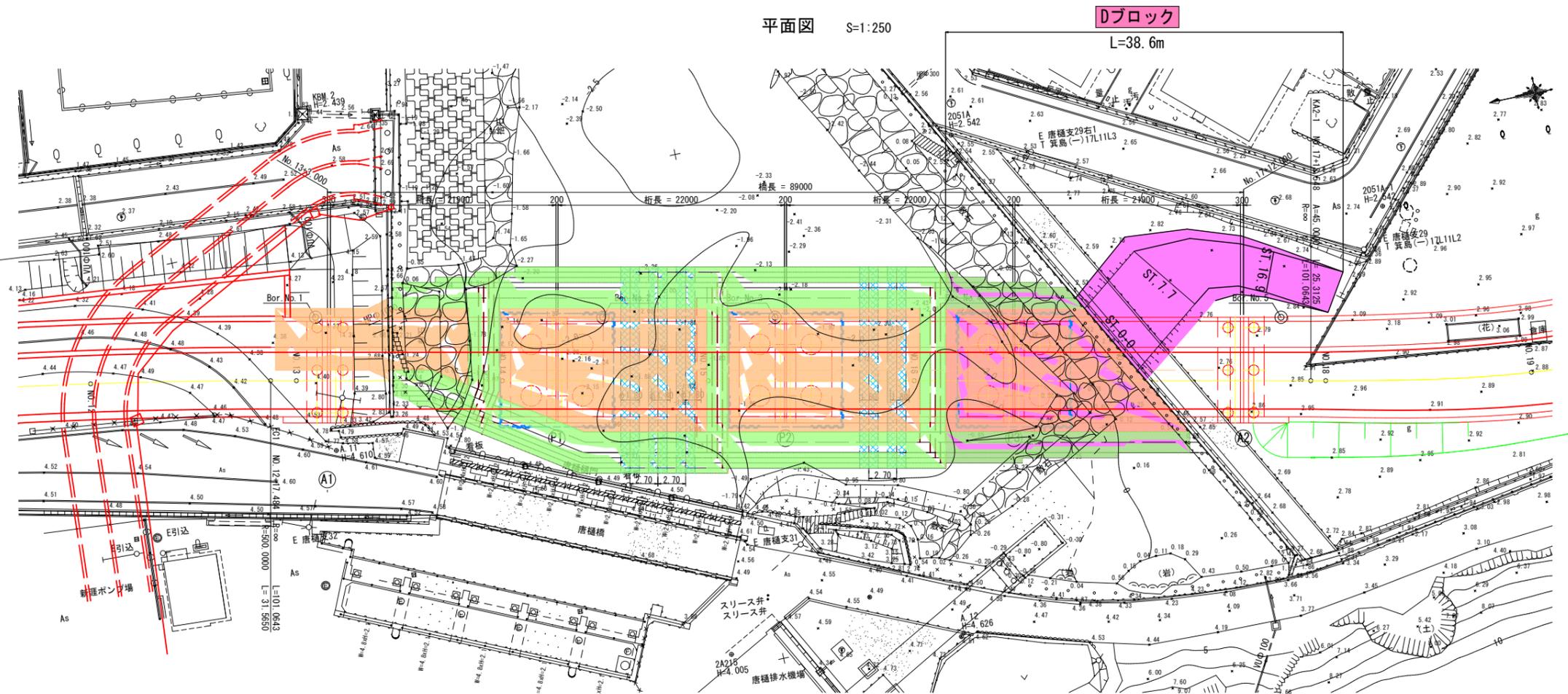
仮設盛土撤去 (Dブロック)
(港湾内+港湾外)

仮設盛土 V=672m3
大型土のう N=261個

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	14 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土一般図(1)	番号	1 / 2
路線名	新涯箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町内		
事業者名	福山市		

仮設盛土撤去図(2)

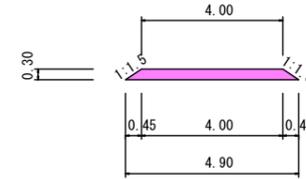
横断面 S=1:100

仮設盛土撤去 (港湾外)

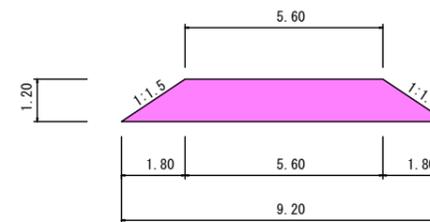
C=0.0



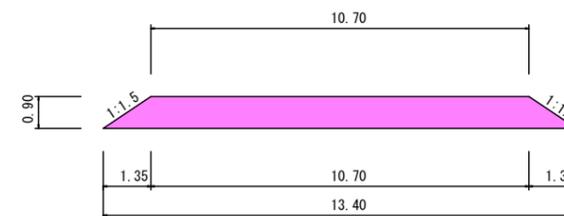
ST, 16.9



ST, 7.7



ST, 0.0



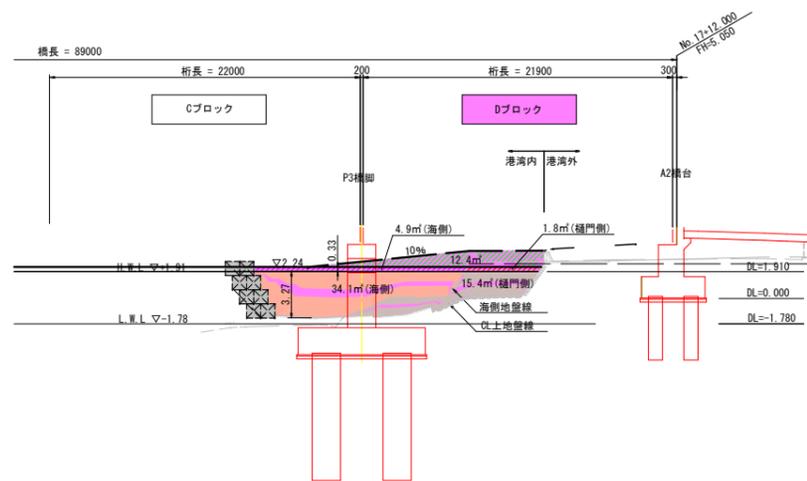
$C = (10.70 + 13.40) * 0.90 / 2 = 10.845 \approx 10.8$

※測点を記した平面図は、図面番号「14/17」に記載

側面図 S=1:250

仮設盛土撤去 (港湾内)

数量根拠
Dブロック

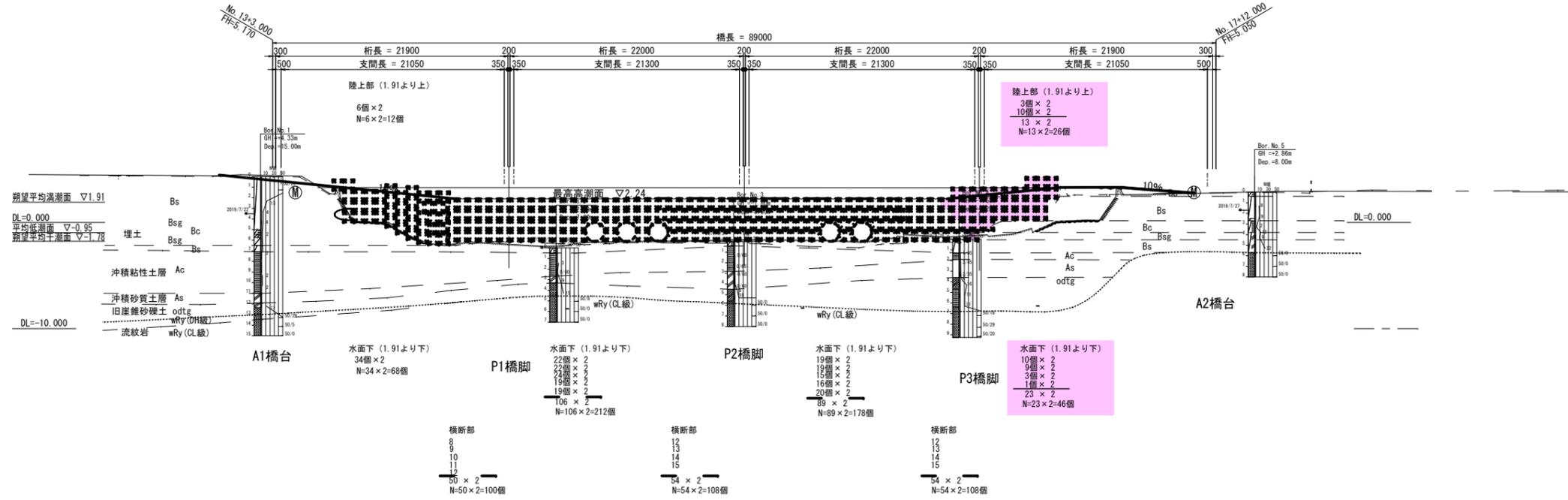


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	15 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土撤去図(2)	番号	2 / 2
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

大型土のう撤去図 S=1:250

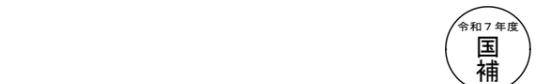
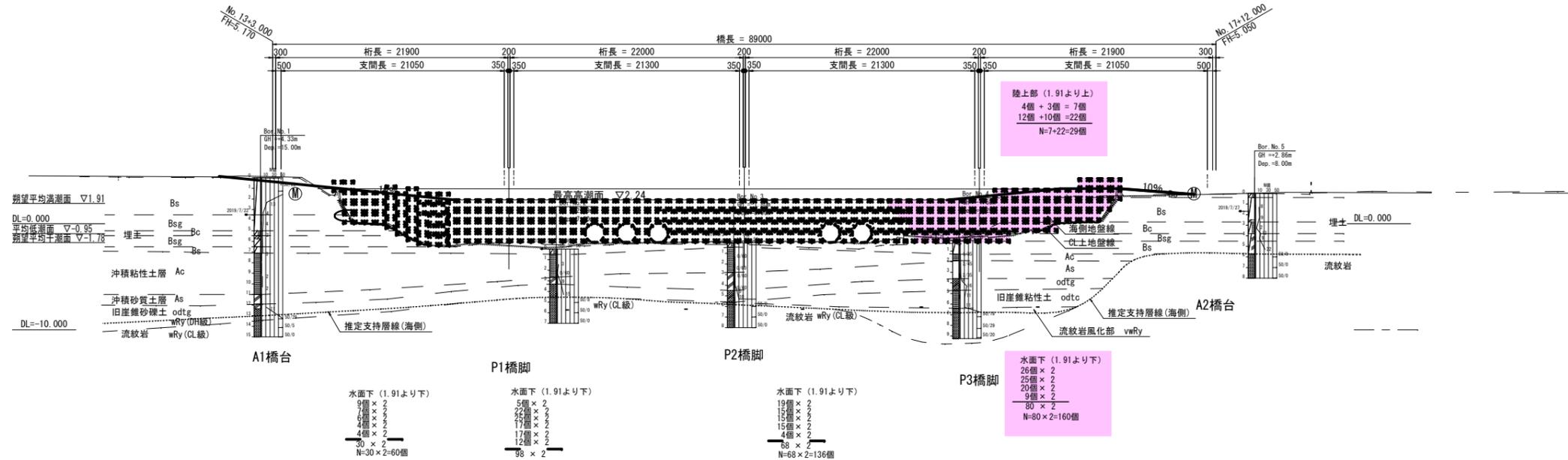
沖側側面図 S=1:250



施工箇所	沖側	陸側	小計(個)
Dブロック	26	29	55

施工箇所	沖側	陸側	小計(個)
Dブロック	46	160	206

陸側側面図 S=1:250



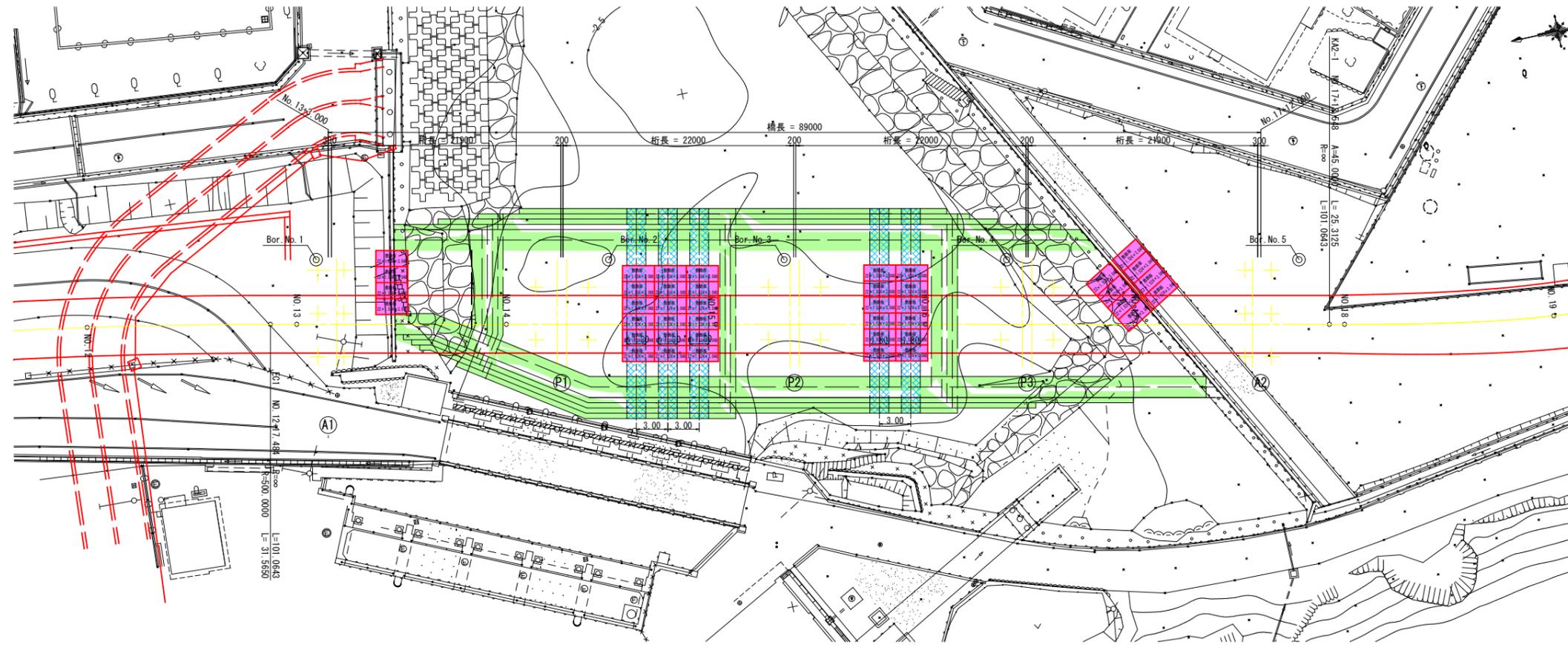
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2025年(令和7年)7月

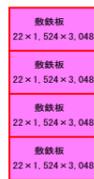
図面番号	16 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	大型土のう撤去図	番号	1/1
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

敷鉄板敷設計画図

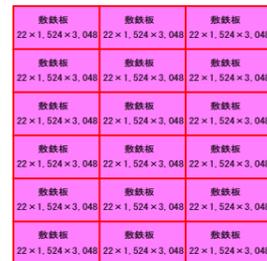
平面図 S=1:250



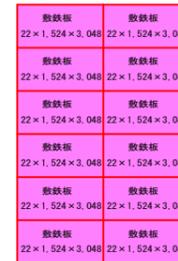
展開図 S=1:125



敷鉄板 4枚



敷鉄板 18枚



敷鉄板 12枚



敷鉄板 8枚

敷鉄板数量 N=4+18+12+8=42枚
(規格: 22 × 1,524 × 3,048)

指定仮設 (工事用道路工 (敷鉄板))

仮設盛土 (工事用道路) の下部にある既設海洋保全施設を保護するため、施設管理者と協議の上、施工中は敷鉄板を施設することを決定している。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	17 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	敷鉄板敷設計画図	番号	1/1
路線名	新渥箕島線 (橋梁下部) ・ 7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

以下参考図書

施工单価表

施工単価表

仮設盛土撤去 Dブロック
土砂 オープンカット 押土無し

SPK24040001

単第0 -0001 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.26% 労務構成比:

36.73%

材料構成比: 19.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

328.03000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

仮設盛土撤去 Dブロック 狭小箇所あり
 潮待ち補正係数 1.25

V0004

単第0 -0002 表

見積

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.070	人			
普通作業員	0.090	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.8	L			
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.13m3(平積0.1) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.014	日			
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.014	日			
<賃>ベッセル V=1m3	0.014	日			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.014	日			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,020.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0005 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)

大型土のう袋

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

14,457.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=19 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0006 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)

防砂シート

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,358.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=13 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

SPK24040411

単第0 -0007 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

1

t 当り

機械構成比: 13.52% 労務構成比: 83.62%

材料構成比: 2.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,082.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.52%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.39%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	40.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.86%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊					

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 12.13% 労務構成比: 75.47%

SPK24040015

切梁腹起式 障害無し

材料構成比: 12.40%

単第0 -0008 表

1

m3 当り

標準単価: 452.08000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.13%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	47.60%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	27.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 13.28% 労務構成比: 73.14%

SPK24040015

切梁腹起式 障害有り

材料構成比: 13.58%

単第0 -0009 表

1

m3 当り

標準単価: 504.69000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	13.28%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	42.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	30.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0010 表

土砂 掘削深さ5m超20m以下

切梁腹起式 障害有り

1

m3 当り

機械構成比: 38.59% 労務構成比:

50.56% 材料構成比: 10.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,253.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3	33.86%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3		MTPC00066 MTPT00066
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3	4.73%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3		MTPC00061 MTPT00061
普通作業員	17.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	16.99%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	10.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=3 掘削深さ5m超20m以下 D=2 障害有り		

施工単価表

頁0 -0011

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0011 表

最大埋戻幅4m以上

1

m3 当り

機械構成比: 12.87% 労務構成比:

75.45%

材料構成比: 11.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,048.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.07%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.73%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.07%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	28.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	25.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.39%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0013 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,663.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=43 距離19.5km以下(14.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

基礎杭工
杭1本当り掘削長 15 . 1m

S1030029
設計杭径 2,000mm

単第0 -0014 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.260	人			
とび工	1.260	人			
特殊作業員	1.260	人			
普通作業員	1.260	人			
機-18_オールケーシング掘削機運転 全回転式 CD 最大掘削径2000mm	1.260	日			単第0-0015 表
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型70t吊 排出ガス対策型3次基準	1.260	日			単第0-0016 表
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	1.260	日			単第0-0017 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30,スランプ18,粗骨材20(25) W/C(55%),セメント量350kg,種別(高炉)	30.819	m3			
諸雑費	29	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=10.6 C=0 E=5 G=1	レキ質土・粘性土・砂・砂質土の掘削長(m) 軟岩2の掘削長(m) 設計杭径 2,000mm 30-18-25(20)BB		B=2.86 D=1.64 F=9 I=1	岩塊・玉石・軟岩1の掘削長(m) 硬岩1・中硬岩の掘削長(m) 杭長(m) -	

施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0024 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.76% 労務構成比:

81.50%

材料構成比:

8.74%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,928.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	8.18%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.48%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0025 表

標準 軟岩

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

898.88000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=2 軟岩 E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0026 表

標準 硬岩

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.45% 労務構成比:

38.17% 材料構成比: 14.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,045.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.17%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=3 硬岩 E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0027 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,727.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=64 運搬距離28.4km以下(23.2km超)		

施工単価表

T形橋脚
100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満)

S3070
生コンクリート(各種)

単第0 -0028 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			0.6*1
特殊作業員	0.200	人			0.2*1
型わく工	1.800	人			1.8*1
とび工	0.600	人			0.6*1
普通作業員	1.600	人			1.6*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30, スランプ12, 粗骨材20(25) W/C(55%以下), 種別(高炉)	10.200	m3			
機-20_コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式 90~110m3/h	0.060	日			単第0-0029 表
雑工種(基礎材敷設転圧)	2	%			#06
雑工種(均しコンクリート打設)	4	%			#06
諸雑費	26	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0041 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離0.3km以下

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比: 39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

368.39000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=1 距離0.3km以下			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

捨石復旧 SPK24040167 単第0 -0042 表 1 m3 当り
 最大作業半径9mを超え24m以下 石材再利用 潮待ち補正係数 1.37 標準単価： 1,547.60000
 機械構成比： 41.02% 労務構成比： 50.93% 材料構成比： 8.05% 市場単価構成比： 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	22.40%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
バックハウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	18.62%		バックハウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.37)	17.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.37)	14.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.37)	9.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.37)	7.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0043 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

736.78000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

掘削
土砂 片切掘削

SPK24040001

単第0 -0044 表

1 m3 当り
標準単価： 1,249.00000

機械構成比： 10.05% 労務構成比： 84.73% 材料構成比： 5.22% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.05%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	74.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	10.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0045 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

敷鉄板設置

S1050041

単第0 -0046 表

頁0 -0051

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			
とび工	0.152	人			
普通作業員	0.152	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			単第0-0047 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

鋼矢板横継施工

V0010

単第0 -0050 表

型 L=12.0+2.5=14.5m

見積

10

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.73	人			
とび工	3.46	人			
溶接工	1.73	人			
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	1.73	日			単第0-0051 表
電気溶接機運転 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 250A 排出ガス対策型1次基準	1.73	日			単第0-0052 表
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用 棒径4.0mm	23.00	kg			
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

電気溶接機運転
 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 250A

S9085
 排出ガス対策型1次基準

単第0 -0052 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	21.60	L			
電気溶接機 DE駆動・直流アーク式・排1 最大溶接電流250A	1	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=21.6 軽油消費量 (L / 日) C=2 排出ガス対策型1次基準			B=1	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 250A	

施工単価表

鋼矢板圧入(50<Nmax 600)
250<Nmax 375 型

V1050020
圧入長(m) 15以下(12超) 補助クレーンあり

単第0 -0053 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.703	人			
特殊作業員	2.703	人			
とび工	5.405	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 普通鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	2.703	日			単第0-0054 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50~51t吊 排出ガス対策型2011年規制	2.703	日			単第0-0055 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	2.703	日			単第0-0056 表
諸雑費	16	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

施工単価表

鋼矢板継足し溶接工
型 L=14.5+1.5=16.0m

V0011

単第0 -0057 表

10

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			
とび工	1.73	人			
溶接工	1.73	人			
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.86	日			単第0-0051 表
電気溶接機運転 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 250A 排出ガス対策型1次基準	1.73	日			単第0-0052 表
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用 棒径4.0mm	23.00	kg			
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

鋼矢板引抜き
陸上施工 型

S0454
引抜長(m) 15以下(12超)

単第0 -0058 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			
特殊作業員	0.294	人			
とび工	0.588	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.294	日			単第0-0059 表 10/34
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.294	日			単第0-0056 表 10/34
諸雑費	0.2	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=4 引抜長(m)_15以下(12超)			B=3 4型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (50<Nmax 600)

S0458

単第0 -0061 表

1

回 当り

IV型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.100	人			
特殊作業員	1.100	人			
とび工	2.190	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 普通鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	0.590	日			単第0-0054 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50~51t吊 排出ガス対策型2011年規制	0.900	日			単第0-0055 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=3 圧入 (50<Nmax 600) C=1 陸上施工			B=3 IV型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
引抜き

S0458

単第0 -0062 表

1

回 当り

IV型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.130	日			単第0-0059 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			単第0-0056 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=4 C=1 引抜き 陸上施工			B=3 IV型		

施工単価表

異形加工鋼矢板 (A, B, D, E, F) 新品買
材料費・加工費

V0080

単第0 -0064 表

見積

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
材料費 鋼矢板A L=12000 異形矢板加工費含む	1	枚			
材料費 鋼矢板A L=2500 開先加工費・異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板B L=12000 開先加工費・異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板B L=2500 異形矢板加工費含む	1	枚			
材料費 鋼矢板D L=12000 異形矢板加工費含む	1	枚			
材料費 鋼矢板D L=2500 開先加工費・異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板E L=12000 開先加工費・異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板E L=2500 異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板F L=12000 異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
材料費 鋼矢板F L=2500 開先加工費・異形矢板加工費含む 矯正・補強プレート含む	1	枚			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

山留材（腹起し・隅火打ち）設置
設置

SHD10019

単第0 -0065 表

頁0 -0070

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.700	日			
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材（腹起し・隅火打ち）撤去
撤去

SHD10019

単第0 -0066 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.000	日			
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材質料 (H-300)

SHD10013

単第0 -0068 表

H-300 100kg/m

供用日数153日

1

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-300, 100kg/m 180日(6か月)以内	1.000	t			
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			
(賃料)鋼製山留材 部品 180日(6か月)以内	0.220	t・日			
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 山留材質料 C=1 - E=2 修理費及び損耗費:副部材(A) G=153 賃料期間(日)			B=2 鋼製山留材 H-300, 100kg/m D=2 修理費及び損耗費:主部材 F=2 修理費及び損耗費:副部材(B)		

施工単価表

機-16_発動発電機運転
ディーゼル25kVA

S9469
排出ガス対策型2次基準

単第0 -0071 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	22.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量25kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=6 ディーゼル25kVA C=1.2 機械賃料数量(供用日/日)			B=22 燃料消費量(L/日) D=3 排出ガス対策型2次基準		

数量計算書

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事（新渥美島線（橋梁下部）・7-1）								
橋梁下部								
	道路土工							
		掘削工						
			掘削	仮設盛土撤去 Dブロック 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	m3	219.1	220	
				仮設盛土撤去 Dブロック 土砂 狭小箇所あり 潮待ち補正係数1.25	m3	452.4	450	潮待ち補正 見積
			大型土のう撤去	大型土のう撤去 Dブロック 作業半径6mを超え20m以内 潮待ち補正係数1.21	袋	261	261	潮待ち補正
		残土処理工						
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 他工事流用 DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	m3	646.8	650	P3橋脚の埋戻土不足分 (24.7m3) に一部充当
				標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 他工事流用 DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	m3	217.5	220	大型土のう中詰材 261/1.2
		運搬処理工						
			現場発生品運搬	大型土のう袋 距離27.5km以下(23.5km超) DID区間有り クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	0.914	0.91	261*3.5/1000
				砂防シート 距離14.0km以下(11.5km超) DID区間有り クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	0.141	0.14	282.0*0.5/1000
				現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	1.055	1.06	0.914+0.141
			殻処分	廃プラスチック処理費 耐水性土のう(長期) 3.5kg/袋	t	0.914	0.91	見積
				廃プラスチック処理費 防砂シート(不織布(長繊維化繊系)) 0.5kg/m2	t	0.141	0.14	見積
	P3橋脚工							
		作業土工						
			床掘り	A領域 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	m3	181.5	180	
			床掘り	B領域 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	m3	423.5	420	
			床掘り	C領域 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	m3	163.9	160	
			埋戻し	最大埋戻幅4m以上	m3	392.1	390	
			基面整正		m2	72.1	72	
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	m3	357.9	360	
			残土等処分	粘性土	m3	357.9	360	
		場所打杭工						
			場所打杭	基礎杭工 杭1本当たり掘削長15.10m 設計杭径 2,000mm	本	4	4	
			杭頭処理工		本	4	4	
			鉄筋工	SD345_D35 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	14.996	15.00	
				SD345_D16~D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	6.156	6.16	
				SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	0.116	0.12	
			積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	62.0	60	
				破砕岩 土量50,000m3未満	m3	36.0	40	
				破砕岩 土量50,000m3未満	m3	20.8	20	
			埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	64.0	60	
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 他工事流用 DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	m3	62.0	60	
				標準 軟岩 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	36.0	40	
				標準 硬岩 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	20.8	20	
			残土等処分	軟岩	m3	36.0	40	
				硬岩	m3	20.8	20	
			コンクリート殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	m3	12.6	13	
			コンクリート殻処分	無筋コンクリート殻	t	29.5	30	12.56*2.35

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事（新渥美島線（橋梁下部）・7-1）								
橋梁下部								
		橋脚躯体工(構造物単位)						
			T型橋脚	100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満) 生コンクリート ($\sigma_{ck}=30N/mm^2$)	m3	236.4	236	
				円形紙管 150×3.5	m	44.2	44	
			鉄筋工	SD345_D35 一般構造物 [規]10t以上 エポキシ樹脂塗装	t	13.127	13.13	
				SD345_D22 一般構造物 [規]10t以上 エポキシ樹脂塗装	t	8.118	8.12	
				SD345_D19 一般構造物 [規]10t以上 エポキシ樹脂塗装	t	1.704	1.70	
				SD345_D16 一般構造物 [規]10t以上 エポキシ樹脂塗装	t	1.751	1.75	
	護床工							
		護床復旧工						
			布製型枠工	全面水中施工 標準型（水抜部無し）・平均厚t=100mm	m2	176.4	176	護床復旧図面(12/17) 見積
	護岸工							
		捨石復旧工						
			積込(ルーズ)	残石 土量50,000m3未満	m3	12.0	10	護岸復旧図面(12/17) 7.8+4.2=12.0
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 自工区内運搬 DID区間無し 距離0.3km以下	m3	7.8	8	護岸復旧図面(12/17)
			捨石復旧	捨石復旧 石材再利用復旧 潮待ち補正係数1.37	m3	7.8	8	護岸復旧図面(12/17) 潮待ち補正
			土砂等運搬	標準 残石 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	4.2	4	護岸復旧図面(12/17)
			残土等処分	残石	m3	4.2	4	護岸復旧図面(12/17)
		水叩き復旧工						
			掘削	土砂 片切掘削	m3	8.3	8	護岸復旧工図面(12/17)
			基面修正		m2	41.4	41	護岸復旧工図面(12/17)
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 他工事流用 DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	m3	8.3	8	護岸復旧工図面(12/17)
			水叩き復旧	無筋・鉄筋構造物 人力打設 生コンクリート ($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	8.3	8	護岸復旧工図面(12/17)
	仮設工							
		工事用道路工						
			敷鉄板	敷鉄板設置	m2	195.1	195	
				敷鉄板撤去	m2	195.1	195	
				敷鉄板賃料 22×1524×3048, 802kg/枚 賃貸期間134日	枚	42.0	42	
		土留・仮締切工						
			鋼矢板	鋼矢板横継施工 IV型+異形鋼矢板 L=12.0+2.5=14.5m	箇所	108	108	見積
				鋼矢板圧入(50<Nmax≤600) 補助クレーン有り 250<Nmax≤375 IV型 圧入長(m)_15以下(12超)	枚	108	108	
				鋼矢板継足し溶接工 IV型 L=14.5+1.5=16.0m	箇所	14	14	見積
				鋼矢板引抜き 陸上施工 IV型 引抜長(m)_15以下(12超)	枚	108	108	
				ガス切断 鋼矢板	箇所	108	108	
				油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (50<Nmax≤600) IV型 陸上施工	回	1	1	
				油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き IV型 陸上施工	回	1	1	
				鋼矢板(IV型)賃料 1回使用 供用日数153日	t	115.26	115.3	
				異形加工鋼矢板 新品買取 (A, B, D, E, F) 材料費・加工費	式	1	1	見積 V=6.1t
				鋼矢板(異形加工矢板)スクラップ 鋼矢板AはP2橋脚に流量のため現場残置	t	4.45	4.5	

計第1表

仮設盛土撤去数量 (Dブロック)

	港湾内			港湾外	合計 (m3)
	(EL=2.24より上部)	(EL=1.91~2.24)	(EL=1.91より下部)		
掘削 オープンカット	91.8			127.3	219.1
掘削 潮待ち 狭小箇所あり		29.7	422.7		452.4

大型土のう撤去数量 (Dブロック)

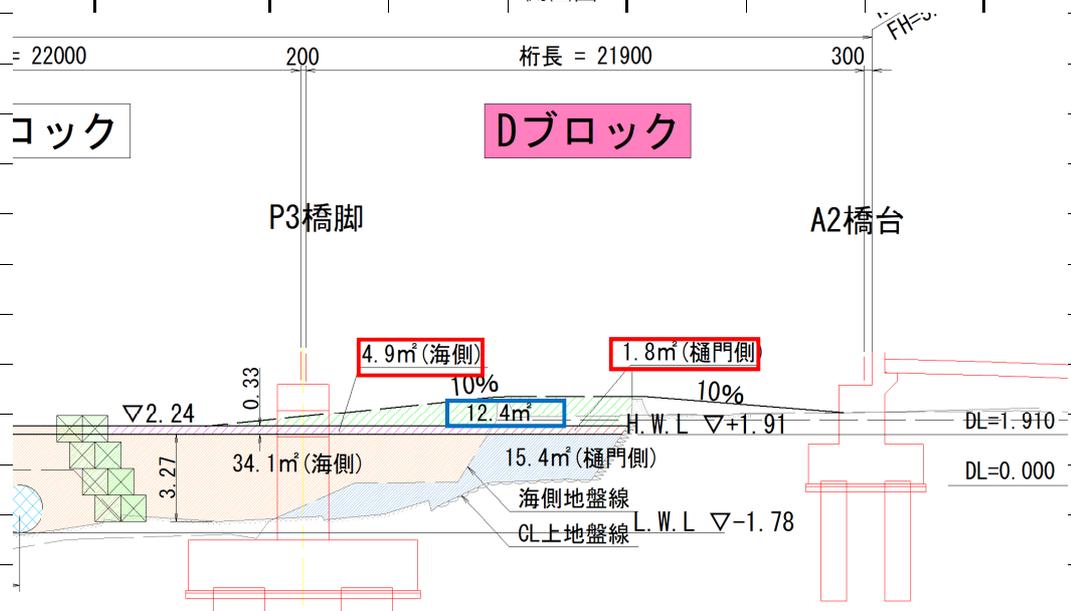
	陸上	水中		合計 (袋)
大型土のう撤去 潮待ち	55	206		261

防砂シート撤去数量 (Dブロック)

				合計 (m2)
防砂シート撤去				282.0

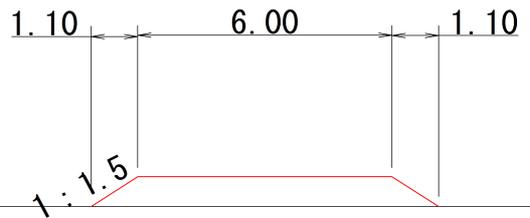
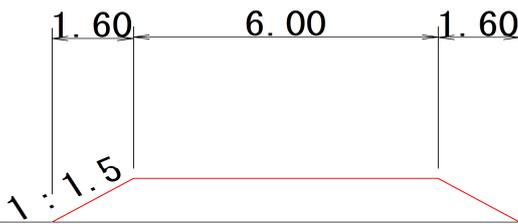
仮設盛土撤去 Dブロック 数量計算書

測点	距離	仮設盛土撤去			摘要
		断面	平均	立積	
*港湾内（盛土高EL=2.24より上部）					
・ A 2 橋台側取付部盛土					
平均幅=(1.6+1.1) × 1/2=1.35m					
		0.0	-----	-----	
	1.4	12.4	6.20	8.7	
	6.0	12.4	12.40	74.4	
	1.4	0.0	6.20	8.7	
側面図					



海側横断

陸上部横断



小計

8.8

91.8

仮設盛土撤去 Dブロック 数量計算書

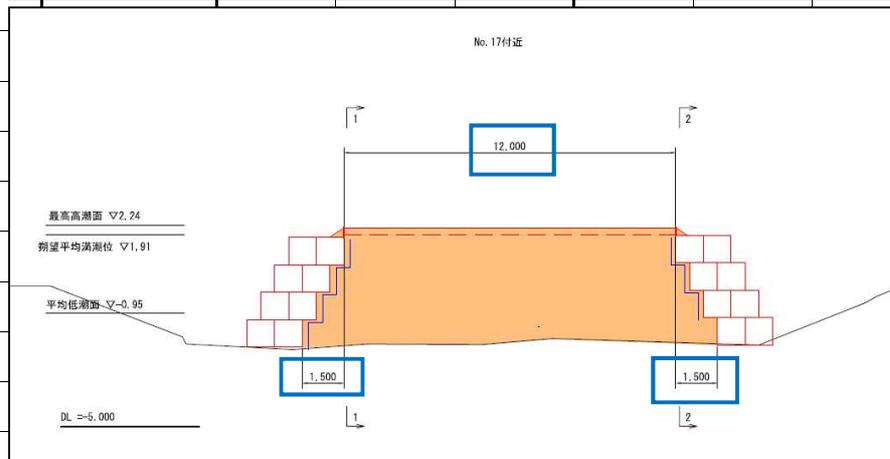
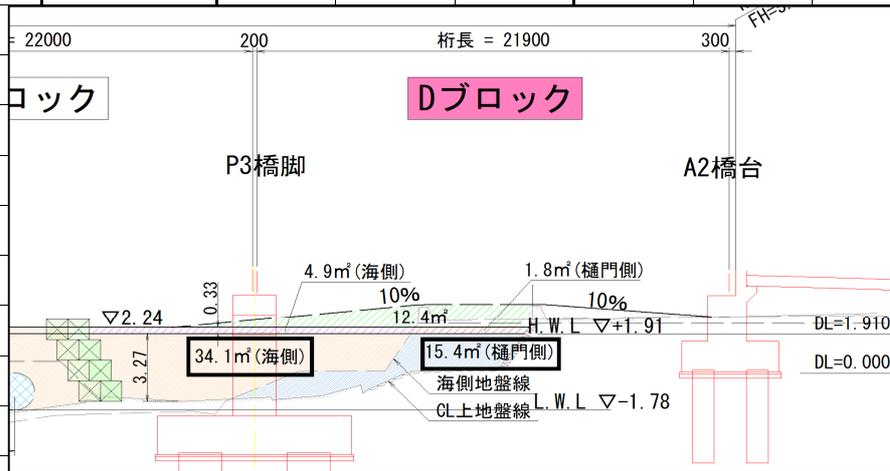
測 点	距 離	仮設盛土撤去			摘 要
		断面	平均	立積	
港湾内 (期望平均満潮位 (H. W. L) EL=1.91~盛土高EL=2.24)					
		沖側の断面=4.9m ²			
		樋門側の断面=4.9+1.8=6.7m ²			
				4.9	-----
	12.0			6.7	5.80
					69.6

側面図

P3橋脚 (仮締切内) 未埋め戻し部				$(2.24-1.91) \times 11.0 \times 11.0 =$	-39.9
小 計	12.0				29.7

仮設盛土撤去 Dブロック 数量計算書

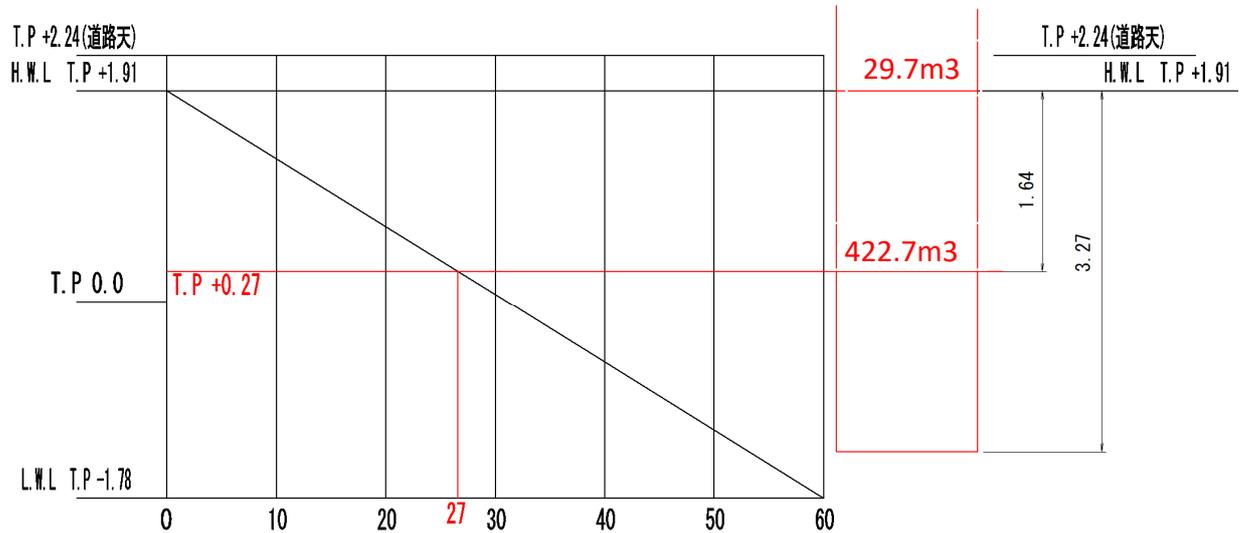
測点	距離	仮設盛土撤去						摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
港湾内 (期望平均満潮位 (H. W. L) EL=1.91より下部)								
		沖側の断面=34.1m ²						
		樋門側の断面=34.1+15.4=49.5m ²						
(潮待ち補正)								
		0.0	-----	-----				
(沖側)	1.5	34.1	17.05	25.6				
	12.0	49.5	41.80	501.6				
(樋門側)	1.5	0.0	24.75	37.1				
								側面図



P3橋脚 (仮締切内) 未埋め戻し部			$(1.91 - 0.74) \times 11.0 \times 11.0 =$	-141.6				
小計	15.0			422.7				

Dブロック 仮設盛土

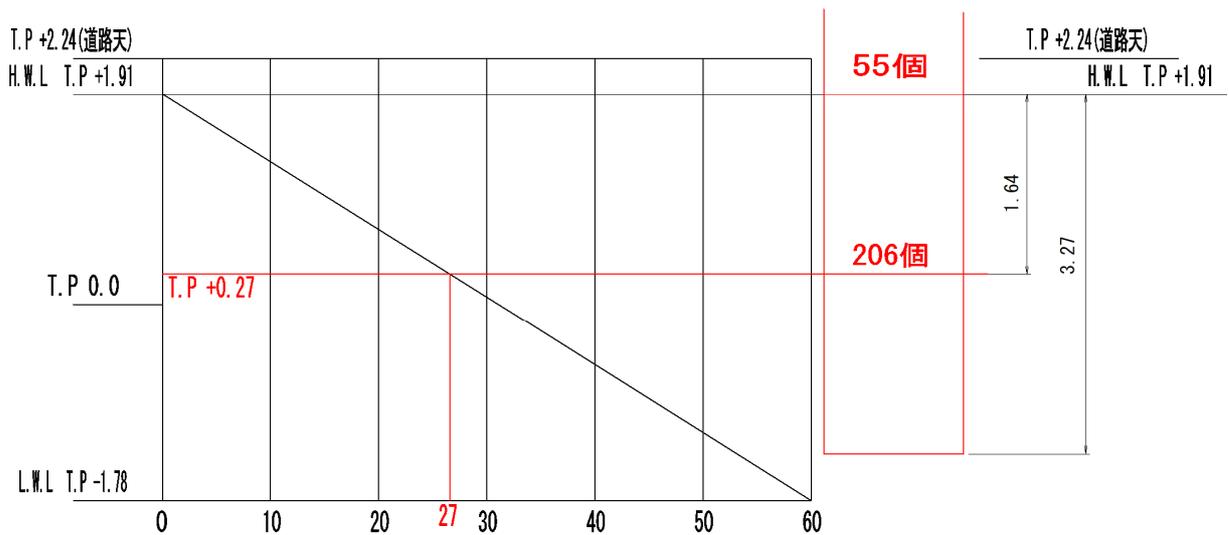
潮待ち作業割増表 Dブロック



$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{422.7 \times 1.27 + 29.7 \times 1}{422.7 + 29.7} \\ &= 1.25 \end{aligned}$$

Dブロック 大型土のう

潮待ち作業割増表 Dブロック



$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{206 \times 1.27 + 55 \times 1}{206 + 55} \\ &= 1.21 \end{aligned}$$

P3橋脚(作業土工) 数量総括表

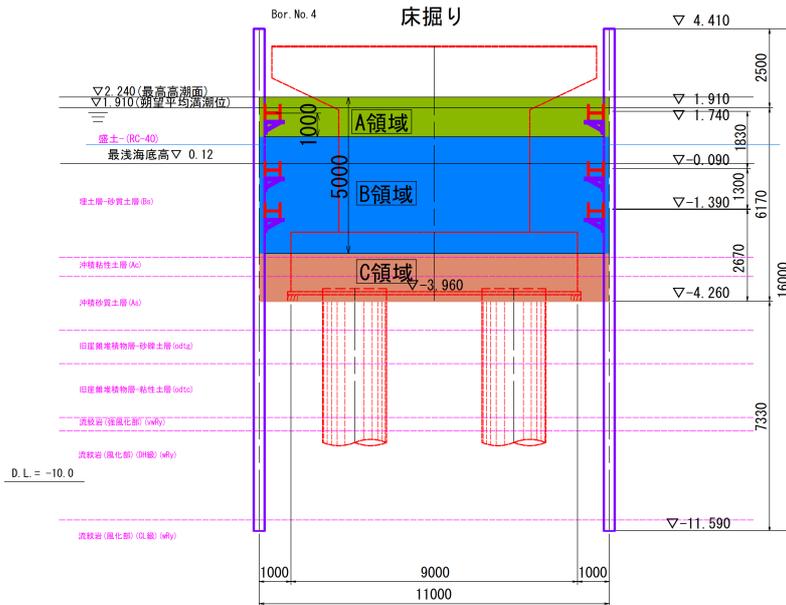
種 別	規 格			単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	仮設盛土から充当	合計
床掘り	標準・切梁腹起式・障害無し	A領域	土砂	m ³				181.5		181.5
	標準・切梁腹起式・障害有り	B領域	土砂	m ³				423.5		423.5
	掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式・障害有り	C領域	土砂	m ³				163.9		163.9
	計			m ³				768.9		768.9
埋戻し	最大埋戻幅 4m以上		土砂	m ³				392.1		392.1
	最大埋戻幅 1m以上4m未満		土砂	m ³						
残土				m ³				-24.7	24.7	
捨土	粘性土	B領域	土砂	m ³				5.0		5.0
	粘性土	C領域	土砂	m ³				352.9		352.9
	計			m ³				357.9		357.9
基面整正				m ²				72.1		72.1

P3橋脚

1. 床掘り

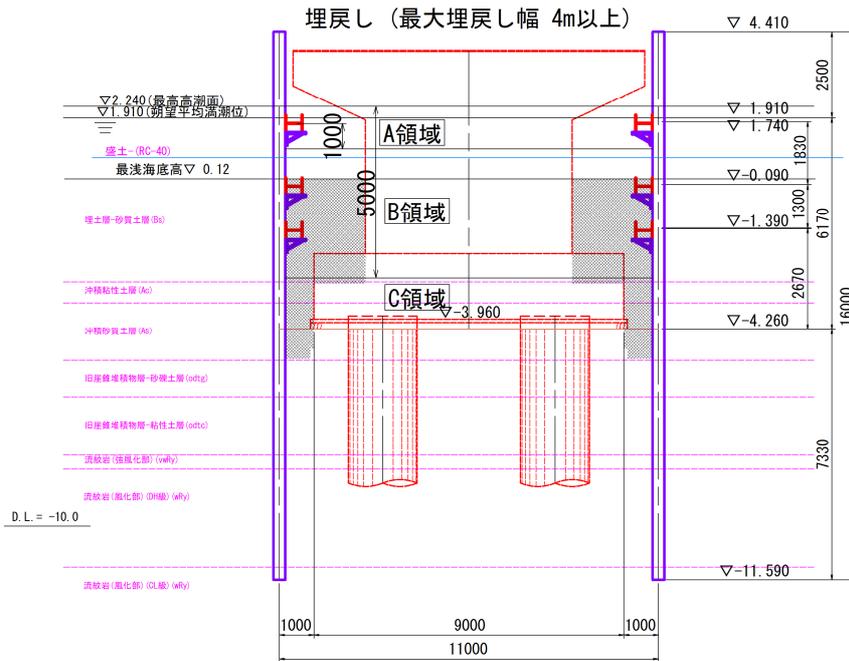
a) 切梁式土留掘削部

① A領域, 土砂	1段切梁下1.0m							
	盛土天	腹起し位置						
掘削高	= 2.240	- 1.740	+ 1.000	= 1.500	m			
V1=	11.000	× 11.000	× 1.500	=	181.5	m ³		
							<hr/>	
② B領域, 土砂	施工基面から5m以下							
掘削高	= 5.000	- 1.500	= 3.500	m				
V2=	11.000	× 11.000	× 3.500	=	423.5	m ³		
							<hr/>	
③ C領域, 土砂	5mを超え20m以下							
掘削高	= 2.240	+ 4.260	- 5.000	= 1.500	m			
V3=	11.000	× 11.000	× 1.500	=	181.5	m ³		
		m ²	m ²					
杭頭控除	V4= (-)	$\pi/4$	× 2.000 ²	× 1.400	× 4	=	-17.6	m ³
		m ²						
							<hr/>	
					ΣV	=	163.9	m ³
							<hr/>	
土砂合計 ΣV =	$\frac{181.5}{\text{A領域}}$	+	$\frac{423.5}{\text{B領域}}$	+	$\frac{163.9}{\text{C領域}}$	=	768.9	m ³



2. 埋戻し (最大埋戻し幅 4m以上, 土砂)

			盛土天	腹起し-1.0m		
埋戻高	=	6.500	- (2.240	- 0.74)	=	5.000 m
V1=		11.000	× 11.000	× 5.000	=	605.0 m ³
躯体控除	V2=	(-) 6.000	× 2.000	× 2.800	=	-33.6 m ³
フーチング控除	V3=	(-) 9.000	× 9.000	× 1.900	=	-153.9 m ³
均しコン控除	V4=	(-) 9.200	× 9.200	× 0.100	=	-8.5 m ³
基礎砕石控除	V5=	(-) 9.200	× 9.200	× 0.200	=	-16.9 m ³
					ΣV	= 392.1 m³



3. 捨土

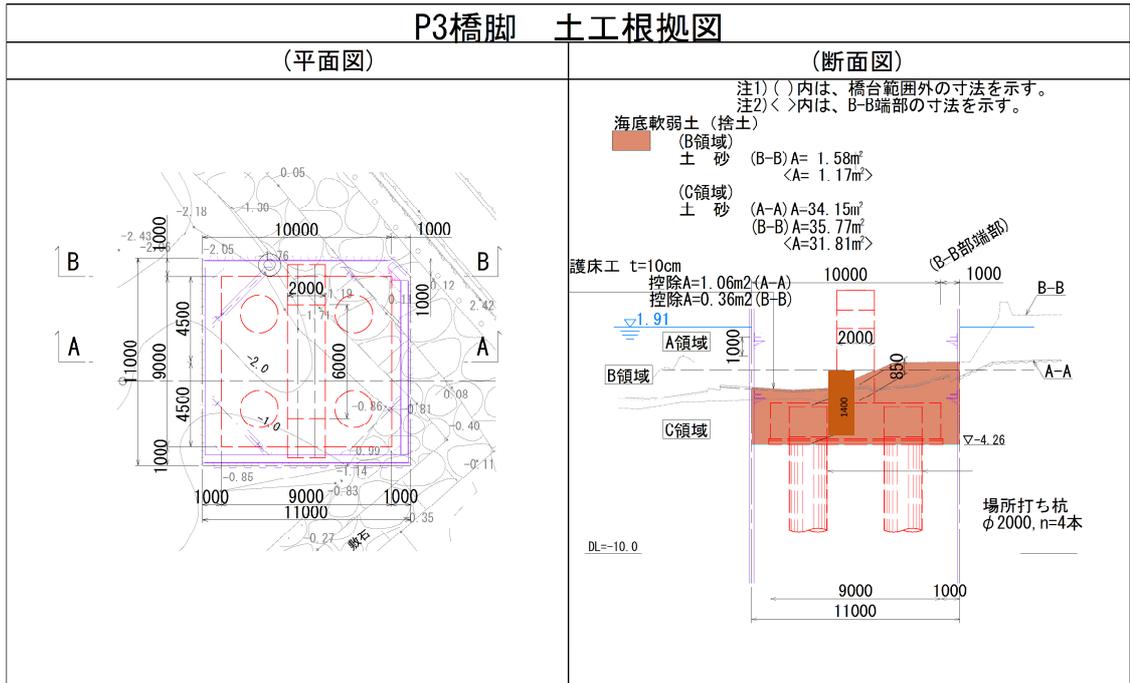
① B領域, 土砂

(B-B) V1=		1/2	× (1.17	+ 1.58) × 1.000	=	1.4 m ³
(B-B~A-A) V2=		1/2	×	1.58	× 4.500		=	3.6 m ³
							ΣV	= 5.0 m³

② C領域, 土砂

(B-B) V1=		1/2	× (31.81	+ 35.77) × 1.000	=	33.8 m ³
(B-B~A-A) V2=		1/2	× (35.77	+ 34.15) × 4.500	=	157.3 m ³
(A-A) V3=		34.15	× (4.500	+ 1.000)	=	187.8 m ³
杭頭控除	V4=	(-) π/4	× 2.000 ²	× 1.400	× 4		=	-17.6 m ³
護床工控除	V5=	(-) 0.36	× 1.000				=	-0.4 m ³
"	V6=	(-) 1/2	× (0.36	+ 1.06) × 4.500	=	-3.2 m ³
"	V7=	(-) 1.06	× 4.500				=	-4.8 m ³
							ΣV	= 352.9 m³

P3橋脚 土工根拠図



4. 残土

$$V = \frac{768.9 \text{ m}^3}{\text{床掘り土量}} - \frac{357.9 \text{ m}^3}{\text{捨土}} - \frac{392.1 \text{ m}^3}{\text{埋戻し土量}} \times 1 / 0.90 = -24.7 \text{ m}^3$$

5. 基面整正

$$\begin{aligned} A1 &= 9.200 \times 9.200 = 84.64 \text{ m}^2 \\ \text{杭控除 } A2 &= (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 4 = -12.57 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A &= 72.07 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

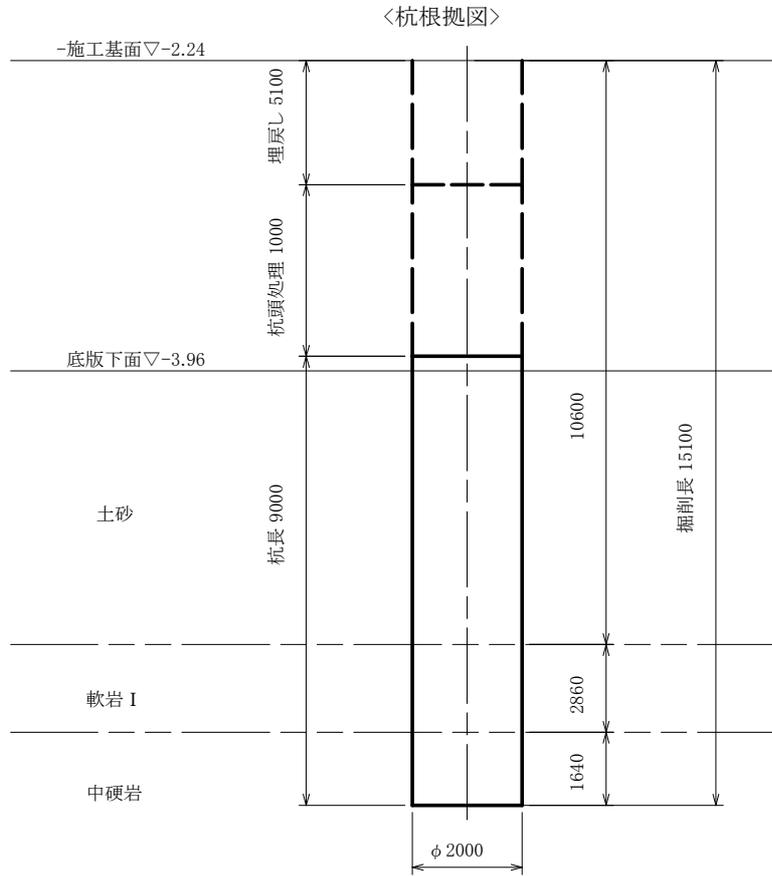
基礎工 数量総括表

種 別	規 格	単位	A1橋台		P1橋脚		P2橋脚		P3橋脚		A2橋台		合 計
									φ 2000, N=4本				
									1本当り	1基当り			
杭 長		m											
	φ 2000	m							9.00	36.00			
コンクリート	呼び強度 30N/mm ²	m ³							28.27	113.08			
鉄 筋	SD345 場所打杭用かご筋	D35	kg						3749	14996			
		D32~D29	kg										
		D25~D16	kg						1539	6156			
		D13	kg						29	116			
		合 計	kg						5317	21268			
杭頭処理		m ³						3.14	12.56				
補強リング 固定金具	L6×50×50	kg											
	L12×75×75	kg							269	1076			
	L9×75×75	kg											
	FB 9×65	kg											
	Uボルト	D35用, SS400	本						192	768			
	D22用, SS400	本											
スペーサー	L=0.300m	本						32	128				
スペーサー 固定金具	Uボルト	D35用, SS400	本						64	256			
		D22用, SS400	本										
	FB30×4	kg						5	20				
土質別掘削長	土 砂	m							10.60	42.40			
	軟岩 I	m							2.86	11.44			
	中硬岩	m							1.64	6.56			
土 工	掘削	土 砂	m ³						33.3	133.2			
		軟岩 I	m ³						9.0	36.0			
		中硬岩	m ³						5.2	20.8			
	残 土	埋戻し	m ³						16.0	64.0			
		土 砂	m ³						15.5	62.0			
		軟岩 I	m ³						9.0	36.0			
	中硬岩	m ³						5.2	20.8				

P3橋脚 場所打ち杭

杭径 ϕ 2000 杭長 L= 9.000 m
 杭本数 4 本 施工方法: 全回転式オールケーシング工

(杭1本当り数量)

1. コンクリート (呼び強度 30N/mm²)

$$V = \frac{\pi}{4} \times 2.000^2 \times 9.000 = 28.27 \text{ m}^3$$

2. 鉄筋 (SD345, 場所打ち杭用かご筋)

(kg)

径	本体	合計
D35	3749	3749
D32		
D29		
D25		
D22	1539	
D19		
D16		1539
D13	29	29
合計	5317	5317

3. 杭頭処理

$$V = \pi/4 \times 2.000^2 \times 1.000 = 3.14 \text{ m}^3$$

4. 補強リング、固定金具

a) L12×75×75

$$W = \text{場所打ち杭配筋図 補強リング、固定金具より} = 269 \text{ kg}$$

b) Uボルト (SS400)

(本)	
	本数
D35用	192

5. スペーサー (L=0.300m)

$$N = 32 \text{ 本}$$

6. スペーサー固定金具

a) Uボルト (SS400)

(本)	
	本数
D35用	64

b) FB 30×4

$$W = \text{場所打ち杭配筋図 スペーサー固定金具より} = 5 \text{ kg}$$

7. 土質別掘削長

土質別掘削長集計表 (m)

土質	掘削長
土砂	10.60
軟岩 I	2.86
中硬岩	1.64
合計	15.10

P3橋脚 場所打ち杭
杭土工

1. 掘削

土質	掘削径(m)	掘削長(m)	断面積(m ²)	掘削土量(m ³)
土砂	2.000	10.60	3.142	33.3
軟岩 I	2.000	2.86	3.142	9.0
中硬岩	2.000	1.64	3.142	5.2
合計	-	15.10	-	47.5

土質別掘削集計表 (m³)

土質	掘削土量
土砂	33.3
軟岩 I	9.0
中硬岩	5.2
合計	47.5

2. 埋戻し

$$V = \pi / 4 \times 2.000^2 \times 5.100 = 16.0 \text{ m}^3$$

3. 残土

a) 土砂

$$V = \frac{33.3 \text{ m}^3}{\text{土砂掘削土量}} - \frac{16.0 \text{ m}^3}{\text{埋戻し土量}} \times 1 \div \frac{0.90}{\text{土量変化率}} = 15.5 \text{ m}^3$$

b) 軟岩

$$V = \frac{9.00 \text{ m}^3}{\text{軟岩 I 掘削土量}} = 9.0 \text{ m}^3$$

c) 中硬岩

$$V = \frac{5.20 \text{ m}^3}{\text{中硬岩掘削土量}} = 5.2 \text{ m}^3$$

下部工(躯体工) 数量総括表

種 別		規 格	区 分		単 位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	A2橋台	合 計
コンクリート	底版	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$			m^3				152.6		
	縦壁				m^3						
	パラベット				m^3						
	ウイング				m^3						
	柱				m^3				46.8		
	梁				m^3				36.9		
	合計				m^3				236.4		
型 枠	底版	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物			m^2				68.4		
	縦壁				m^2						
	パラベット				m^2						
	ウイング				m^2						
	柱				m^2				62.4		
	梁				m^2				51.7		
	合計				m^2				182.5		
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $t=10\text{cm}$			m^2				72.1		
均しコンクリート型枠					m^3				7.2		
基礎砕石		RC-40, $t=20\text{cm}$			m^2				3.7		
伸縮後打ち					m^2				72.1		
鉄 筋	SD345 一般構造物 エポキシ 樹脂塗装	D51			kg						
		D41			kg						
		D38			kg						
		D35			kg				13127		
		D22			kg				8118		
		D19			kg				1704		
		D16			kg				1751		
		合 計			kg				24700		
足場工			手摺先行型枠組足場	$H \leq 30\text{m}$	掛 m^2				159.9		
支保工		パイプサポート	$H < 4.0\text{m}$	$w \leq 40\text{kN/m}^2$	空 m^3				13.4		
				$40\text{kN/m}^2 < w \leq 60\text{kN/m}^2$	空 m^3						
		くさび結合	$h \leq 30\text{m}$	$w \leq 40\text{kN/m}^2$	空 m^3						
アンカーボルト箱抜き	$\phi 150$			m				44.2			
	$\phi 125$			m							
ガードレール延長	Gr-C-2B			m							
ガードレール箱抜き	$\phi 180$			m							
転落防止柵延長	P種			m							
転落防止柵箱抜き	$\phi 100$			m							
コンクリート塗装	CC-B			m^2							

P3橋脚

1. コンクリート ($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

a) 底版

$$\begin{aligned} V1 &= 9.000 \times 9.000 \times 1.900 = 153.90 \text{ m}^3 \\ \text{杭控除 } V2 &= (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 0.100 \times 4 = -1.26 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V1 &= 152.64 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

b) 柱

$$\begin{aligned} V &= 2.000 \times 6.000 \times 3.900 = 46.80 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V2 &= 46.80 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

c) 梁

$$\begin{aligned} V1 &= 1/2 \times 2.000 \times 10.200 \times 0.030 = 0.31 \text{ m}^3 \\ V2 &= 2.000 \times 10.200 \times 1.000 = 20.40 \text{ m}^3 \\ V3 &= 2.000 \times 1/2 \times (10.200 + 6.000) \times 1.000 = 16.20 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V3 &= 36.91 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

コンクリート集計 (m³)

	数量
底版	152.640
柱	46.80
梁	36.91
合計	236.35

2. 型 枠 (一般型枠, 鉄筋・無筋構造物)

a) 底版

$$\begin{aligned} A &= (9.000 + 9.000) \times 1.900 \times 2 = 68.40 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A1 &= 68.40 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

b) 柱

$$\begin{aligned} A &= (2.000 + 6.000) \times 3.900 \times 2 = 62.40 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A2 &= 62.40 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

c) 梁

$$\begin{aligned} A1 &= (2.000 + 10.200) \times 1.000 \times 2 = 24.40 \text{ m}^2 \\ A2 &= 1/2 \times (10.200 + 6.000) \times 1.000 \times 2 = 16.20 \text{ m}^2 \\ A3 &= 1/2 \times 2.000 \times 0.030 \times 2 = 0.06 \text{ m}^2 \\ \text{妻面 } A4 &= 2.000 \times 2.326 \times 2 = 9.30 \text{ m}^2 \\ \text{支承 } A5 &= \{ (10.040 \times (0.050 + 0.030) \\ &\quad + 0.660 \times 1/2 \times (0.050 + 0.030) \times 2 \} \times 2 = 1.71 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A3 &= 51.67 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

型枠集計 (m²)

	数量
底版	68.40
柱	62.40
梁	51.67
合計	182.47

4. 均しコンクリート (σ_{ck}=18N/mm², t=10cm)

$$A1 = 9.200 \times 9.200 = 84.64 \text{ m}^2$$

$$\text{杭控除 } A2 = (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 4 = -12.57 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 72.07 \text{ m}^2$$

$$V = \overset{\text{m}^2}{72.07} \times 0.100 = 7.21 \text{ m}^3$$

5. 均しコンクリート型枠

$$A = (9.200 + 9.200) \times 0.100 \times 2 = 3.68 \text{ m}^2$$

6. 基礎砕石 (RC-40, t=20cm)

$$A1 = 9.200 \times 9.200 = 84.64 \text{ m}^2$$

$$\text{杭控除 } A2 = (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 4 = -12.57 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 72.07 \text{ m}^2$$

7. 鉄筋 (SD345, 一般構造物, エポキシ樹脂塗装)

(kg)

径	本体	合計
D35	13127	13127
D32		
D29		
D25		
D22	8118	8118
D19	1704	1704
D16	1751	1751
D13		
合計	24700	24700

8. 足場工 (手摺先行型枠組足場, H ≤ 30m)

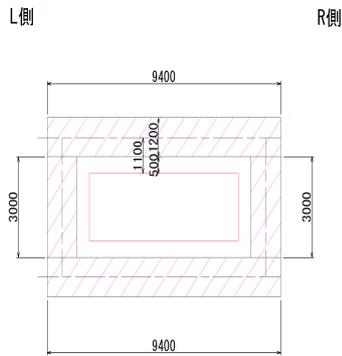
柱部 H = 3.900 m
 $A = (9.400 + 3.000) \times 3.900 \times 2 = 96.7 \text{ 掛m}^2$

梁部
 $A = 10.200 \times (3.840 - 0.740) \times 2 = 63.2 \text{ 掛m}^2$

合計 159.9 掛m²

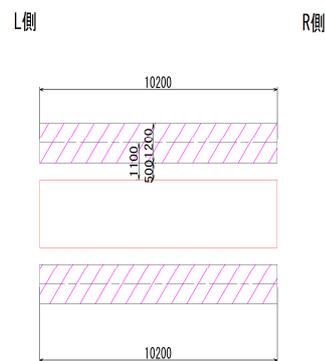
足場工根拠図

(橋脚 柱部)
(平面図)



足場工根拠図

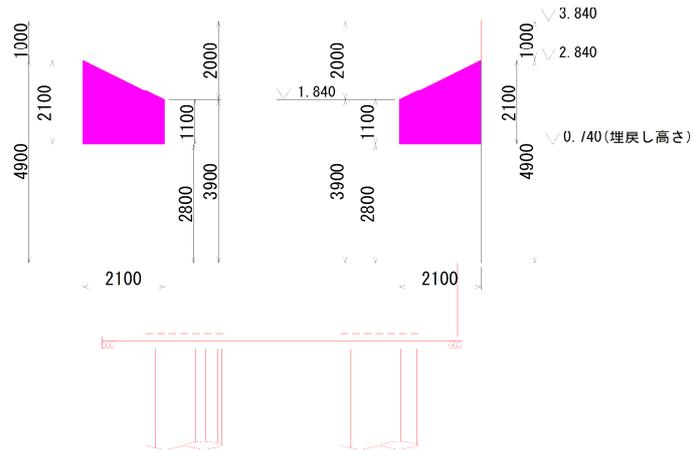
(橋脚 梁部)
(平面図)



(断面図)

L側

R側



9. 支保工

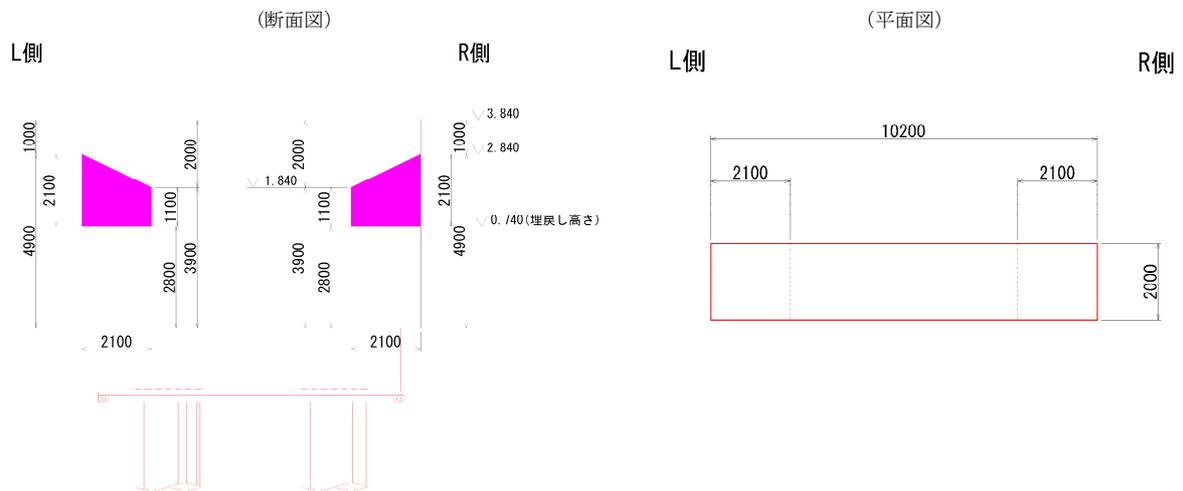
a) L側梁

$$\begin{aligned} \text{平均厚 } t &= \frac{1}{2} \times (1.000 + 2.000) = 1.500 \text{ m} \\ \text{支保耐力 } w &= 1.500 \times 24.5 = 36.75 \text{ kN/m}^2 \\ \text{平均高 } h &= \frac{1}{2} \times (2.100 + 1.100) = 1.60 \text{ m} \\ V &= 2.000 \times 2.100 \times \frac{1}{2} \times (2.100 + 1.100) = 6.7 \text{ 空m}^3 \end{aligned}$$

b) R側梁

$$V = 8. \text{支保工 a) L側梁より} = 6.7 \text{ 空m}^3$$

支保工集計		(空m ³)			
パイプサポート	平均設置高	支保耐力	L側梁	R側梁	合計
	h < 4.0m	40kN/m ² 以下	6.7	6.7	13.4



10. アンカーボルト箱抜き (φ150)

$$\begin{aligned} l &= 0.425 \text{ m} \\ n &= 26 \times 4 = 104 \text{ 箇所} \\ L &= 0.425 \times 104 = 44.20 \text{ m} \end{aligned}$$

仮締切工 数量総括表

種 別	規 格	単 位	値	備 考
鋼矢板横継施工	IV型+異形加工鋼矢板	箇所	108	横方向の継施工
鋼矢板圧入	圧入(50<Nmax≤600)、補助クレーン有 IV型+異形加工鋼矢板	枚	108	Nmax=300、縦方向の継施工無し 補助クレーン=25tラフテレーンクレーン
鋼矢板継足し溶接	IV型 L=16.000m	箇所	14	縦方向の継溶接
鋼矢板引抜	IV型+異形加工鋼矢板	枚	108	油圧式
ガス切断	IV型+異形加工鋼矢板	箇所	108	
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	圧入(50<Nmax≤600)	回	1	
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	引抜	回	1	
鋼矢板(IV型) 賃料		t	115.26	
鋼矢板(異形加工矢板) 新品買取	材料費+加工費	t	6.10	買取(鋼矢板A, B, D, E, F) 計5枚
鋼矢板スクラップ		t	4.45	鋼矢板Aは、現場残置のため除外
鋼矢板運搬	搬入・搬出(往復)	t	115.26	鋼矢板(IV型)を対象
鋼矢板運搬	搬入(往路)	t	6.10	鋼矢板(異形加工)を対象
山留材設置	腹起し+隅火打ち	t	49.67	主部材+副部材(A)+副部材(B)
山留材撤去	腹起し+隅火打ち	t	49.67	主部材+副部材(A)+副部材(B)
山留材(腹起し) 主部材 賃料	H-500×500×25×25 (SS400)	t	35.83	副部材(A)賃料及び副部材(B)不足分弁償金含む
山留材(隅火打ち) 主部材 賃料	H-300×300×10×15 (SS400)	t	3.60	副部材(A)賃料及び副部材(B)不足分弁償金含む
山留材(腹起し) 運搬	H-500×500×25×25 (SS400) 搬入・搬出(往復)	t	43.71	主部材+副部材(A)を対象
山留材(隅火打ち) 運搬	H-300×300×10×15 (SS400) 搬入・搬出(往復)	t	4.39	主部材+副部材(A)を対象

現場搬入（鋼矢板）

種別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
IV型	リース	76.1	12,000	103	94.06
		76.1	2,500	103	19.60
		76.1	1,500	14	1.60
異形加工	新品買取	58.4	12,000	2	1.40
		58.4	2,500	2	0.29
		76.1	12,000	1	0.91
		76.1	2,500	1	0.19
		114.2	12,000	2	2.74
		114.2	2,500	2	0.57
合計					121.36

現場搬出（鋼矢板）

種別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
IV型	返却	76.1	12,000	103	94.06
		76.1	2,500	103	19.60
		76.1	1,500	14	1.60
異形加工矢板	スクラップ	58.4	12,000	2	1.40
		58.4	2,500	2	0.29
		76.1	12,000	1	0.91
		76.1	2,500	1	0.19
		114.2	12,000	1	1.37
		114.2	2,500	1	0.29
	現場残置	114.2	12,000	1	1.37
		114.2	2,500	1	0.29
		合計			

(1) 鋼矢板（IV型）賃料

$$V = \underline{\quad 115.26 \quad} t$$

(2) 鋼矢板（異形加工矢板）新品買取 ※見積

$$V = \underline{\quad 6.10 \quad} t$$

(3) 鋼矢板スクラップ

$$V = \underline{\quad 4.45 \quad} t$$

現場搬入（山留材（主部材））

種別	細別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
腹起し	H-500×500×25×25	リース	300	10,660	3	9.59
			300	9,660	3	8.69
			300	9,510	3	8.56
			300	9,010	3	8.11
			300	980	3	0.88
隅火打ち	H-300×300×10×15		100	3,000	12	3.60
合計						39.43

現場搬出（山留材（主部材））

種別	細別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
腹起し	H-500×500×25×25	リース	300	10,660	3	9.59
			300	9,660	3	8.69
			300	9,510	3	8.56
			300	9,010	3	8.11
			300	980	3	0.88
隅火打ち	H-300×300×10×15		100	3,000	12	3.60
合計						39.43

(1) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）主部材 賃料

$$V = \frac{35.83}{\quad} \text{ t}$$

(2) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）副部材(A) 賃料

$$V = \frac{7.88}{\quad} \text{ t} \quad \text{主部材} \times 0.22$$

(3) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）副部材(B) 不足分弁償金

$$V = \frac{1.43}{\quad} \text{ t} \quad \text{主部材} \times 0.04$$

(4) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）主部材 賃料

$$V = \frac{3.60}{\quad} \text{ t}$$

(5) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）副部材(A) 賃料

$$V = \frac{0.79}{\quad} \text{ t} \quad \text{主部材} \times 0.22$$

(6) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）副部材(B) 不足分弁償金

$$V = \frac{0.14}{\quad} \text{ t}$$

P3橋脚

1. 鋼材質量

種別	寸法						材質	長さ	本数	単位質量	質量	備考			
鋼矢板	IV型						SY295	12000	101	76.1	92233				
鋼矢板	IV型						SY295	2500	101	76.1	19215				
鋼矢板	IV型						SY295	1500	14	76.1	1598				
鋼矢板	鋼矢板C:鋼矢板C4コーナー						SY295	12000	2	76.1	1826				
鋼矢板	鋼矢板C:鋼矢板C4コーナー						SY295	2500	2	76.1	381				
										小計	115253 kg				
鋼矢板	鋼矢板A						SY295	12000	1	114.2	1370				
鋼矢板	鋼矢板A						SY295	2500	1	114.2	286				
鋼矢板	鋼矢板B						SY295	12000	1	114.2	1370				
鋼矢板	鋼矢板B						SY295	2500	1	114.2	286				
鋼矢板	鋼矢板D						SY295	12000	1	58.4	701				
鋼矢板	鋼矢板D						SY295	2500	1	58.4	146				
鋼矢板	鋼矢板E						SY295	12000	1	58.4	701				
鋼矢板	鋼矢板E						SY295	2500	1	58.4	146				
鋼矢板	鋼矢板F						SY295	12000	1	76.1	913				
鋼矢板	鋼矢板F						SY295	2500	1	76.1	190				
										小計	6109 kg				
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	10660	3	300.0	9594	加工材
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	9660	3	300.0	8694	加工材
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	9510	3	300.0	8559	加工材
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	9010	3	300.0	8109	加工材
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	980	3	300.0	882	加工材
隅火打ち	H	-	300	×	300	×	10	×	15	SS400	3000	12	100.0	3600	加工材
										小計	39438 kg				
鋼矢板	IV型						(SY295)	(引抜き)	L=16.000m		17046 kg				
鋼矢板	IV型						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		96000 kg				
鋼矢板	鋼矢板C:鋼矢板C3コーナー						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		2207 kg				
鋼矢板	鋼矢板A:						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		1656 kg				
鋼矢板	鋼矢板B:						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		1656 kg				
鋼矢板	鋼矢板D:						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		847 kg				
鋼矢板	鋼矢板E:						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		847 kg				
鋼矢板	鋼矢板F:						(SY295)	(引抜き)	L=14.500m		1103 kg				
小計										121362 kg					
主部材	H	-	500	×	500	×	25	×	25	(SS400)	(加工材)		35838 kg		
	H	-	300	×	300	×	10	×	15	(SS400)	(加工材)		3600 kg		
小計(主部材)										39438 kg					
副部材(A)	主部材		×	0.22								8676 kg			
副部材(B)	主部材		×	0.04								1578 kg			
小計(副部材)										10254 kg					
合計(主部材+副部材)										49692 kg					
運搬質量(主部材+副部材(A))										48114 kg					
異形加工鋼矢板															
鋼矢板A:異形加工鋼矢板C4コーナー										L=14.500m	1 枚				
鋼矢板B:異形加工鋼矢板IV型										L=14.500m	1 枚				
鋼矢板D:異形加工鋼矢板IV型										L=14.500m	1 枚				
鋼矢板E:異形加工鋼矢板IV型										L=14.500m	1 枚				
鋼矢板F:異形加工鋼矢板IV型										L=14.500m	1 枚				
横継施工箇所										N=	108 箇所				
継足し溶接箇所										N=	14 箇所				
木製キャンバー										N=	12 個				

2. 打設長 (硬質地盤クリア工法)

a) 盛土

$$L1 = 3.82 \times 108 = 412.56 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{412.56 \text{ m}}{108 \text{ 本}} = 3.82 \text{ m}$$

b) 沖積粘性土

$$L1 = 1.90 \times 108 = 205.20 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{205.20 \text{ m}}{108 \text{ 本}} = 1.90 \text{ m}$$

c) 沖積砂質土

$$L1 = 1.70 \times 108 = 183.60 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{183.60 \text{ m}}{108 \text{ 本}} = 1.70 \text{ m}$$

d) レキ質土、岩塊・玉石、軟岩、中硬岩

$$L1 = (1.10 + 1.70 + 0.40 + 3.21) \times 108 = 692.28 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{692.28 \text{ m}}{108 \text{ 本}} = 6.41 \text{ m}$$

3. 打込み長 <硬質地盤クリア工法>

a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板

$$L = 13.830 \times 108 = 1493.64 \text{ m}$$

$$\text{(1枚当り) } L = \frac{1493.64 \text{ m}}{108 \text{ 枚}} = 13.83 \text{ m}$$

4. 引抜き長 <油圧引抜き工>

a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板

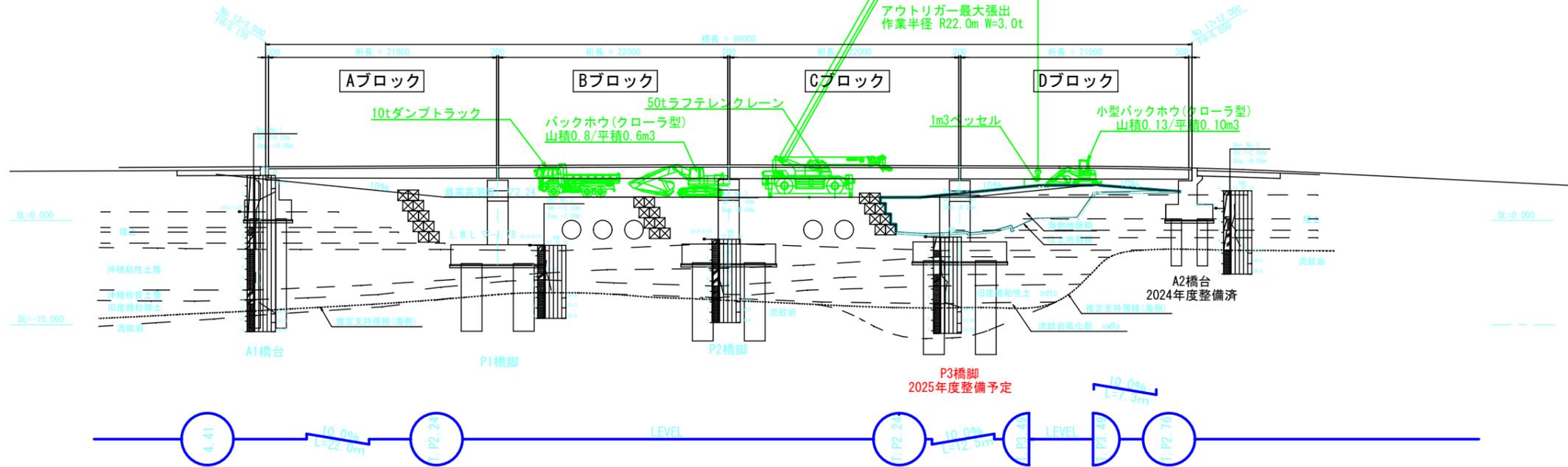
$$L = 3. \text{打込み長 a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板 Lより} = 1493.64 \text{ m}$$

$$\text{(1枚当り) } L = 3. \text{打込み長 a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板(1枚当り) Lより} = 13.83 \text{ m}$$

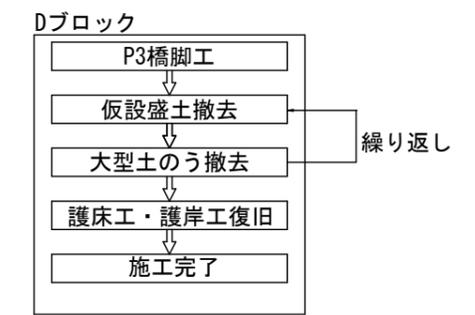
参 考 图 面

仮設盛土撤去工 施工要領図 Dブロック

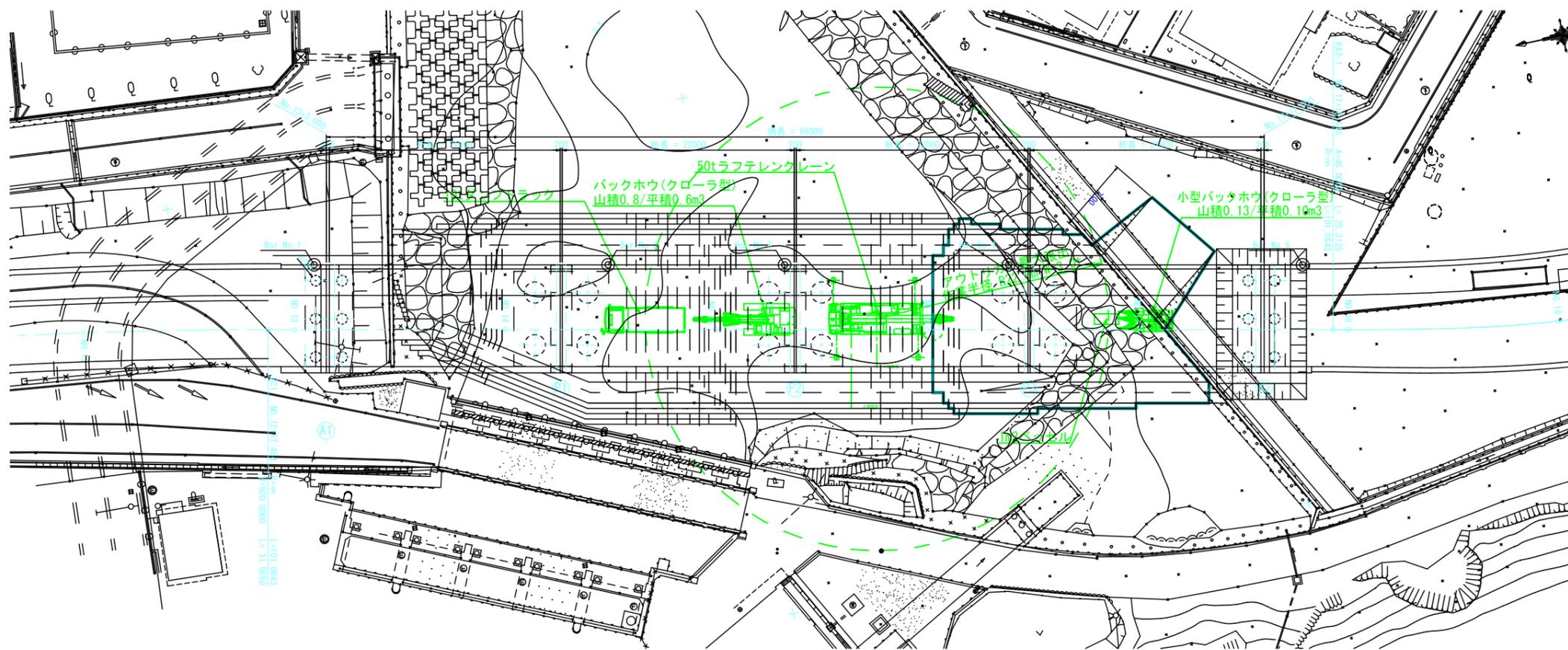
側面図 S=1:250



Dブロック(潮待ち補正箇所)
 仮設盛土 V=452m³
 大型土のう N=261個



平面図 S=1:250



作業手順(参考)

- ①50tラフテレンクレーンで小型バックホウ及びベッセルを終点側へ吊込
- ②小型バックホウで仮設盛土を掘削し、残土を1m³ベッセルに積込
- ③50tラフテレンクレーンで1m³ベッセルを起点側へ吊込
- ④0.7m³バックホウで残土の積込を行い、10tダンプトラックで場外搬出

※各作業は、Dブロックの潮待ち補正係数1.25の条件で施工する。
 ※P3橋脚終点側の仮設盛土撤去が完了したら、0.7m³バックホウで直接掘削する。

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

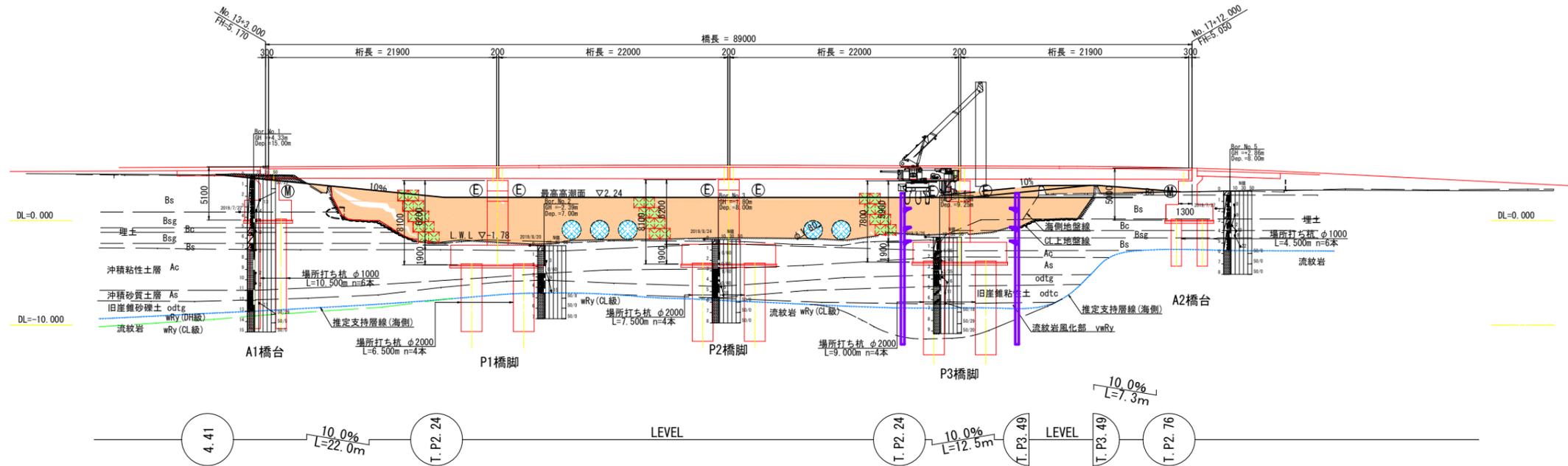


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

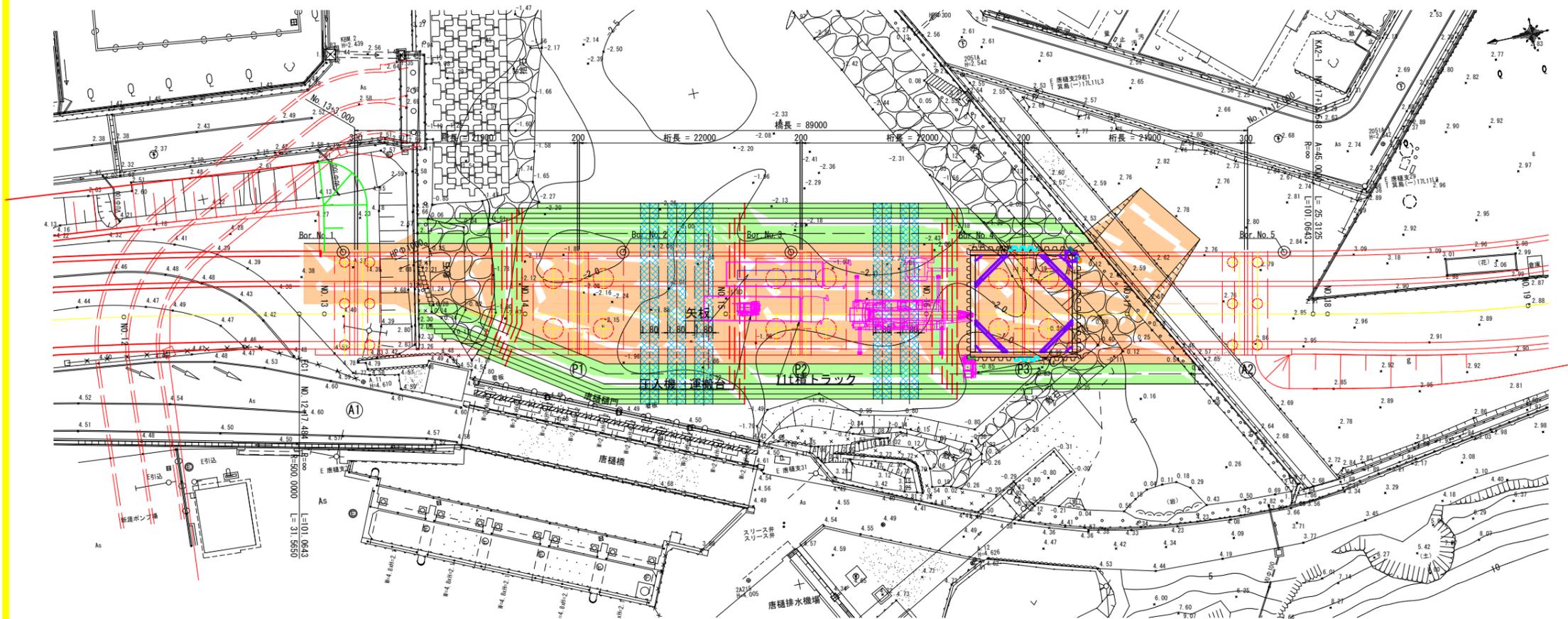
図面番号	参考図1	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土撤去工 施工要領図	番号	1/1
路線名	新渥箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P3橋脚仮締切工施工要領図

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M. X. H. W. L	既往最高高潮面	4.96 3.00
H. H. W. L	最高高潮面	4.20 2.24
H. W. L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M. S. L	平均水面	2.10 0.14
T. M. S. L (旧称:T. P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M. L. W. L	平均低潮面	1.01 -0.95
L. W. L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C. D. L	最低水面	0.00 -1.96

※T. M. S. L (旧称T. P) で図示している。

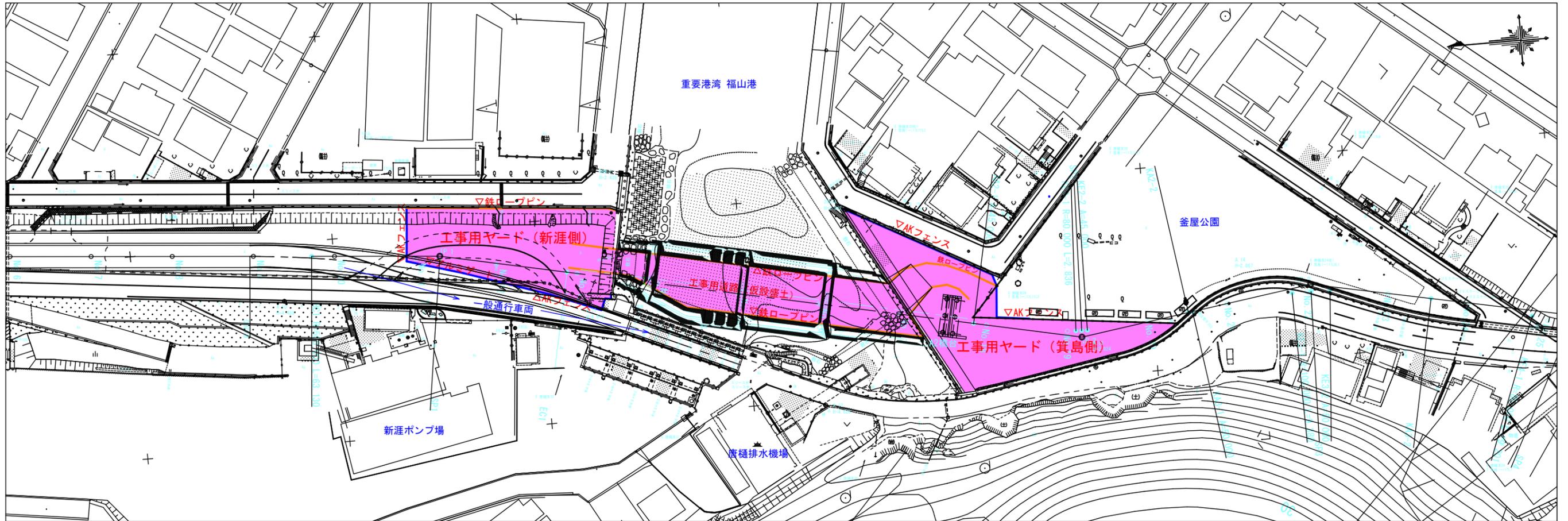


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	参考図3	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P3橋脚仮締切工 施工要領図	番号	1/1
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町内		
事業者名	福山市		

工事用ヤード 仮囲い平面図

平面図 S=1:500



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2025年(令和7年)7月

図面番号	参考図4	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	工事用ヤード 仮囲い平面図	番号	1/1
路線名	新渡箕島線(橋梁下部)・7-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		